

取扱説明書

新玉ねぎ調製機


RTC3600



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

新玉ねぎ調製機 RTC3600 を お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は、新玉ねぎ調製機 RTC3600 の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。
- お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合、速やかに当社にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容及び写真・イラストなどの一部が、本機と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・J Aにご相談ください。
-  マークは、安全上特に重要な項目ですので、必ずお守りください。
- 「安全上のご注意」をご使用前に必ずお読みください。
- 二次元コードから調整方法など製品に関する動画をご覧いただけます。



HP リンク


目 次


はじめに


1. 安全上のご注意	3
2. 使用上のご注意	5
3. 安全銘板の貼り付け位置	6
4. 本製品の使用目的について	6
5. 各部の名称	7
6. 仕様	8
7. 付属品一覧	9
8. 作業前の準備	11
9. 乾燥玉ねぎを調製する時の調節	17
10. 使い方	22
11. 玉ねぎの仕上がり調節	23
12. 各部の調節	27
13. 手入れ・保管上の注意	30
14. 回路図	30
15. 別売部品	31
16. 消耗部品の交換	32
17. 故障の診断と処置	38


1. 安全上のご注意

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ご使用前にお読みいただき、必ずお守りください。




 警告	取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うおそれがあります
---	------------------------------

 注意	取扱いを誤った場合、傷害または物的損害が発生するおそれがあります
---	----------------------------------










	してはいけないことを示します
---	----------------

	必ずしなければいけないことを示します
---	--------------------










使用環境について

 警告	
	子供には充分注意し、本機に近づけない ケガの原因になります
	次のような場所では使用しない 不安定な場所/傾いた場所/水のかかる場所/火器の近く



電源について

 警告	
	電源プラグは根元まで確実に差込む 感電やショート、火災の原因になります
	AC100V 電源のコンセントを単独で使う タコ足配線をしないでください 火災や漏電の原因になります
	電源コードや電源プラグを傷つけない 傷ついた電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わない 断線や感電の原因になります
	電源プラグは濡れた手で抜き差ししない 感電の原因になります
	コンセントから抜くときは電源ケーブルを持たずに電源プラグを持って抜く 感電やショート、火災の原因になります
	電源プラグにほこりが付着している場合はよく拭き取る 火災の原因になります
	使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く お手入れや点検・整備の際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください ケガや感電、落雷による故障の原因になります
	作業中停電した場合は、電源プラグをコンセントから抜く 通電時、急にまわりだしケガや事故の原因になります

取扱いについて

⚠ 注意	
	異常、故障時には使用を中止する 故障や破損、事故の原因になります
	改造をしない 故障や破損、事故の原因になります
	他製品のアタッチメントや誤った部品は取付けない 故障や破損、事故の原因になります
	他人に貸す場合は、取扱い方法をよく説明し取扱説明書をよく読むよう指導する また、取扱い方法を十分に理解していない人には本機を貸さない 事故の原因になります
	次のときには本機を使用しない <ul style="list-style-type: none">・ 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき・ 酒類を飲んだとき・ 妊娠しているとき・ 18才未満の人 事故の原因になります
	作業に適した服装をする 袖や裾の締まりのよい服装をしてください 手ぬぐいやタオルを頭や首に巻いて作業しないでください 回転部に巻き込まれ事故の原因になります
	2人以上で作業する時は、お互いに合図しながら機械を始動する 事故の原因になります
	ベルト、プーリーなど動いているすべての部品に手を近づけない ケガや事故の原因になります
	カバー類は必ず取付ける 点検・整備などで取外したカバー類は必ず取付けてください ケガや事故の原因になります

手入れ・保管について

⚠ 注意	
	点検・整備を行う 機械を使用する前後には必ず点検・整備を行ってください ケガや事故、機械の故障の原因になります
	電機部品には絶対に水をかけない ケガや事故、機械の故障の原因になります

2. 使用上のご注意

★ 本機は出荷時青切り玉ねぎ用に調節されています。乾燥玉ねぎでご使用の場合は必ず再調節を行ってください。調節手順は「9. 乾燥玉ねぎを調製する時の調節」を参照してください。

- ・ 青切り玉ねぎ用に調節されている機械で、乾燥玉ねぎを調製しないでください。
- ・ 乾燥玉ねぎ用に調節されている機械で、青切り玉ねぎを調製しないでください。
- ・ 調製できる玉ねぎは下記の①～④の条件全てを満たすものです。

青切り玉ねぎ	乾燥玉ねぎ
① 葉が倒伏したもの ② 鱗茎の直径 60～105 mm ③ 葉の長さ 100 mm以上 ④ 葉の根元直径 24mm 以下 ⑤ 鱗茎から 10mm より上の葉の直径が 10 mm以下に潰れる	① 葉の根元が茶色くなるまで乾燥 ② 鱗茎の直径 60～105 mm ③ 葉の長さ 100 mm以上 ④ 葉の直径 7 mm以下

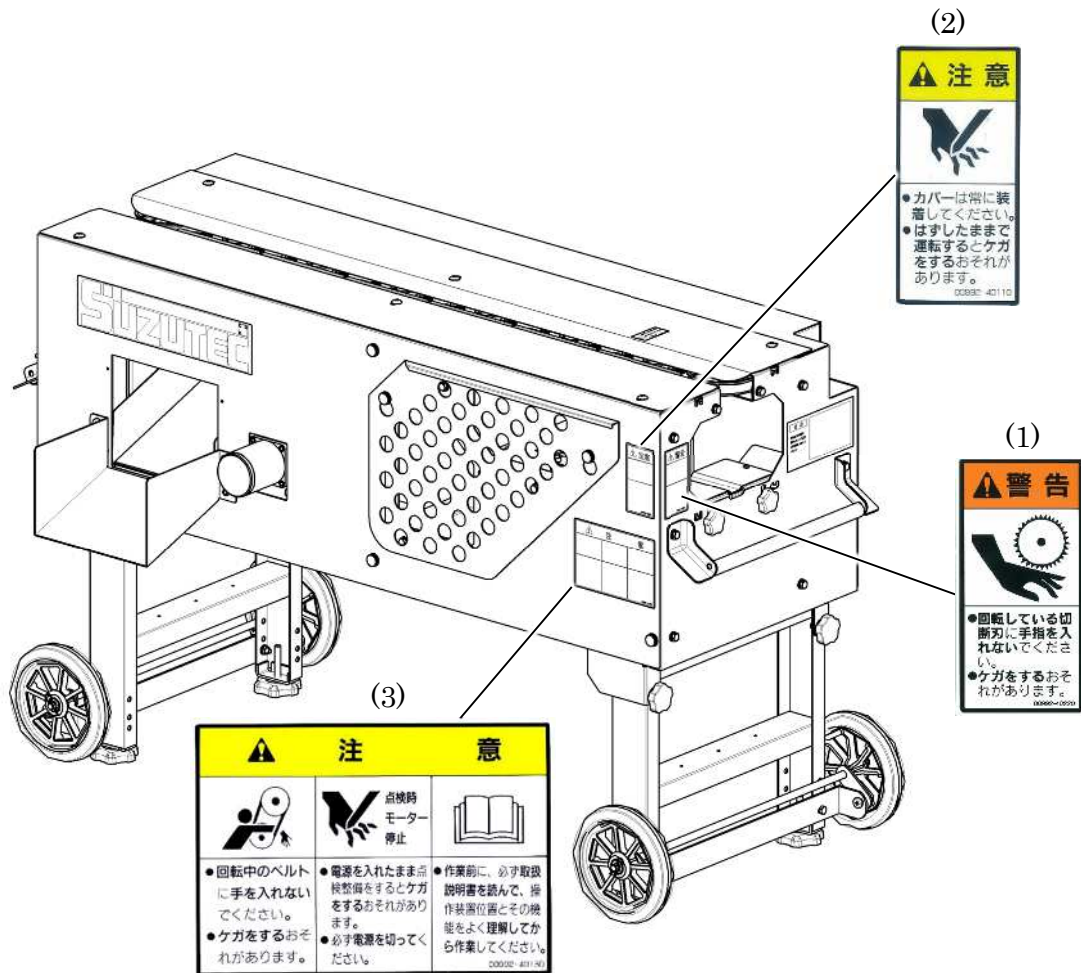
(注意) ①～⑤を満たさない玉ねぎは調製できません。

①～⑤を満たさない玉ねぎを投入しますと、性能が著しく低下もしくは、機械が破損するおそれがあります。

- ・ 根の長さが 30 mm以上残っているとよく切れます
- ・ 刃にひび割れ、欠け、変形、摩耗などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しないでください。なお刃の点検時には手袋を着用してください。

3. 安全銘板の貼り付け位置

安全に作業をしていただくために安全銘板の貼り付け位置を示したものです。
安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しく貼り直してください。



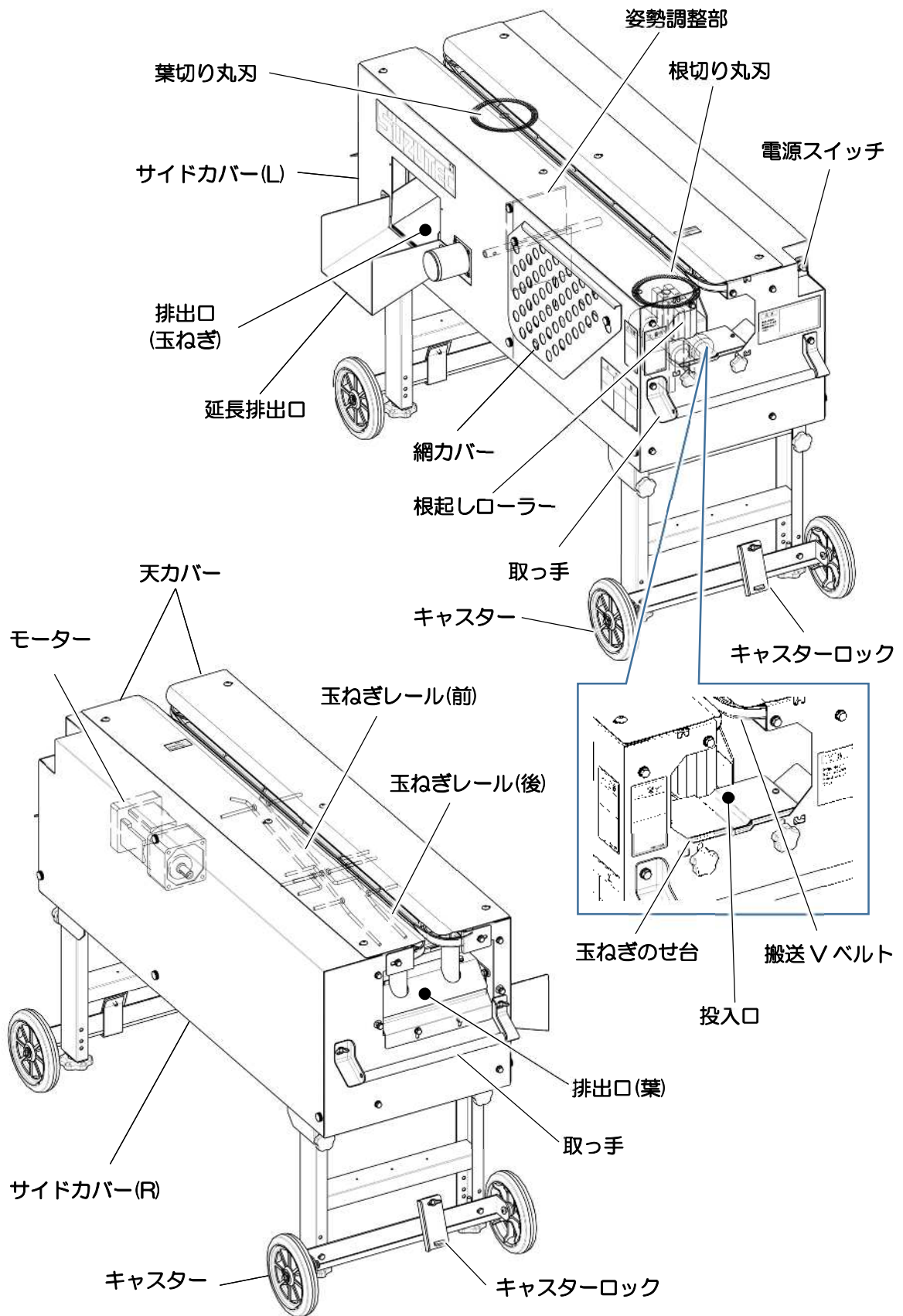
紛失または破損された場合には、当社へ下記の表を参考にご注文ください。

No	部品番号	部品名称
(1)	00992-40220	警告ラベル WL-10
(2)	00992-40110	注意ラベル CL-8
(3)	00992-40130	注意ラベル CL-10

4. 本製品の使用目的について

本製品は、玉ねぎの根及び葉の調製作業機としてご使用ください。
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。

5. 各部の名称



6.仕様

型 式		RTC3600
機 体 寸 法	全 長	1,190mm
	全 幅	610mm
	全 高	730mm
重 量		75kg
動 力		90W/100V/定格 1.6A 6W/100V/定格 0.23A
切 断 部	根切断方式	根起しローラー + ディスクカッター
	葉切断方式	ディスクカッター
搬 送 部	搬 送 方 式	Vベルトによる葉の挟み込み
	搬 送 速 度	130mm/秒 (50, 60Hz)
最大作業能率		~3,600個/時 (50, 60Hz)
調 製	根 長 さ	1~5mm
	葉 長 さ	15~30mm

※この仕様は改良などにより、予告なく変更することがあります。

※作業能率は玉ねぎの投入間隔で変わります。

130mm(約1秒)間隔で玉ねぎを投入した場合、最大作業能率となります。

- ★ 本機は出荷時 60Hz 用に組付けています。50Hz 地区でご使用の場合は必ずスプロケットの掛替えを行ってください。組替手順は「8.7 スプロケットの掛替え」を参照してください。

7. 付属品一覧

付属品が全て揃っているか確認してください。

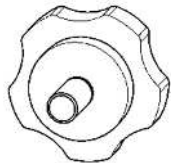
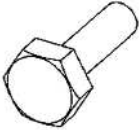
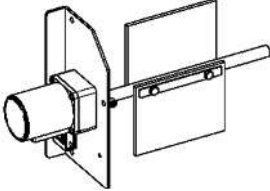

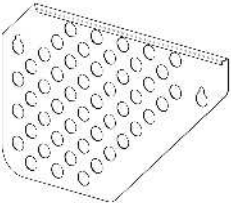

	イラスト	名称	個数	組付参照ページ
A		ノブボルト (M8×16)	4	P11 「8.1 脚の組立て」
B1		キャスター (CR-10 II)	2	P11 「8.2 キャスターの組付け」
B2		六角ボルト (M6×16)	4	P11 「8.2 キャスターの組付け」
B3		座金付ナット (M6)	4	P11 「8.2 キャスターの組付け」
C1		姿勢調整部	1	P12 「8.3 姿勢調整部の組付け」
C2		バネ平組込六角ボルト (M6×12)	3	P12 「8.3 姿勢調整部の組付け」
D		延長排出口	1	P13 「8.4 延長排出口の組付け」

	イラスト	名称	個数	組付参照ページ
E		網カバー	1	P13 「8.5 網カバーの組付け」
F		キャスターロック	2	P16 「8.9 キャスターロックの 使い方」
G		取扱説明書	1	

8. 作業前の準備

8.1 脚の組立て



注意

本機は重量 75kg です。梱包箱からの取出しや移動・脚の組立は 2 人以上で行ってください。
ケガをしたり腰を痛める原因となります。

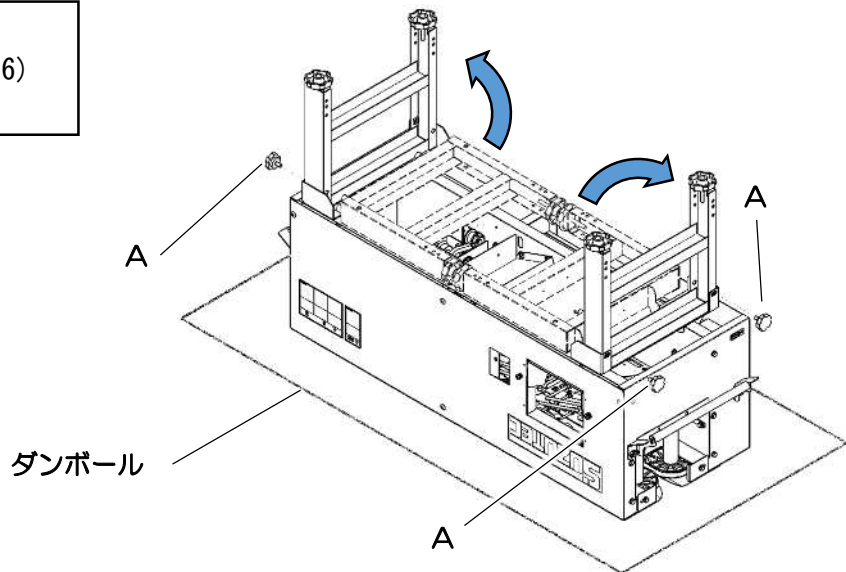
脚が組立てやすいよう本機を裏返して置き、脚を組立てます。

(注意) 本機が傷つかないように厚めのダンボール等を下に敷いてから行ってください。

[必要な部品]

A ノブボルト (M8×16)

…4 個



8.2 キャスターの組付け

本機への組付け前に、キャスターの組立てを行ってください。

キャスターの組立ては別紙「播種機用キャスターCR-10Ⅱ」の取扱説明書裏面にあるパーツリストを参照してください。

- ・両脚の外側にある、一番下の穴へキャスターを組付けます。
移動の仕方は「8.6 本機の設置」を参照してください。

[必要な部品]

B 1 キャスター-CR-10Ⅱ

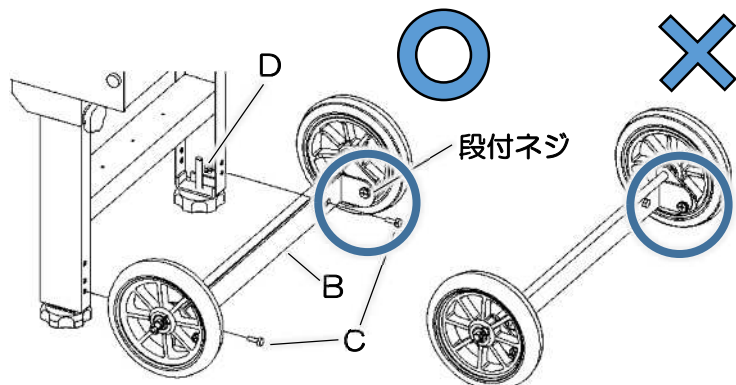
…2 個

B 2 六角ボルト (M6×16)

…4 個

B 3 座金付ナット (M6)

…4 個



(注意) キャスターの上下組付け方向に注意してください。
段付ネジが上側になるよう組付けてください。

8.3 姿勢調整部の組付け（青切り玉ねぎ調製時のみ）

本部品は青切り玉ねぎの調製時のみ組付けてください。乾燥玉ねぎを調製する場合は本部品を取り付けず、「9. 乾燥玉ねぎを調製する時の調節」に沿って乾燥玉ねぎ用の調節を行ってください。

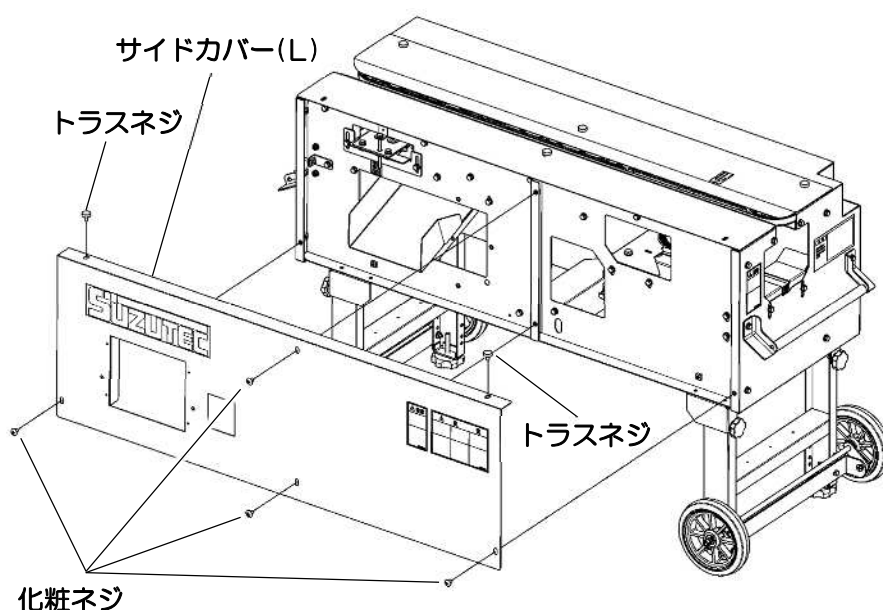


注意

必ず電源プラグを抜いて行ってください。
電源スイッチに誤って触れると本機が作動します。回転部に巻き込まれるなど、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

取外したカバーは必ず取付けてください。衣服が巻き込まれ傷害事故を引き起こすおそれがあります。

- (1) 化粧ネジ(4ヶ所)とトラスネジ(2ヶ所)を外し、サイドカバー(L)を取外します。



- (2) 姿勢調整部のシャフトをオイレスピローに差込み、バネ平組込六角ボルト(3カ所)で固定します。

[必要な部品]

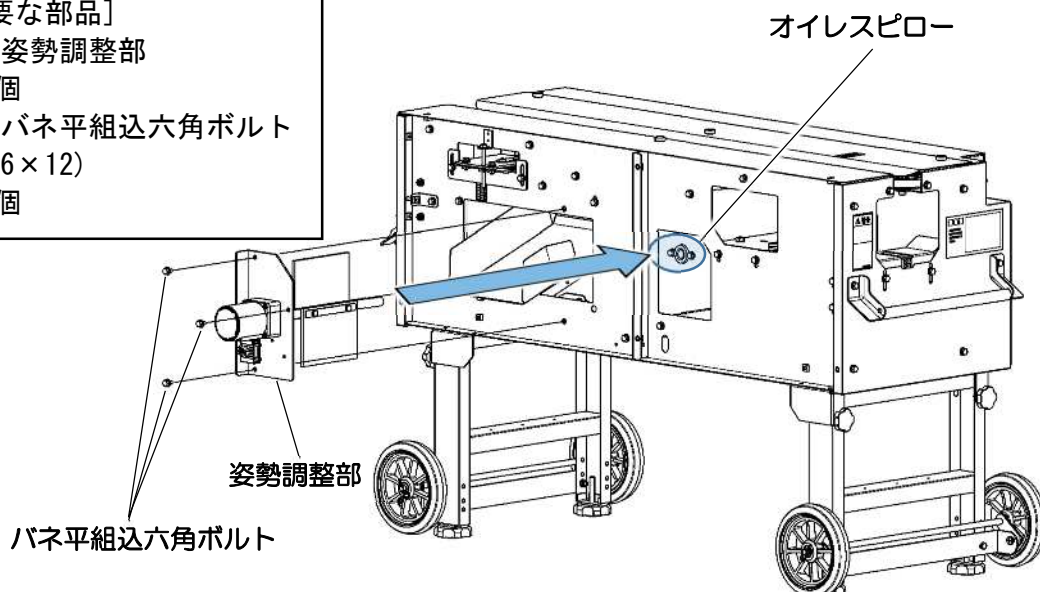
C 1 姿勢調整部

…1個

C 2 バネ平組込六角ボルト

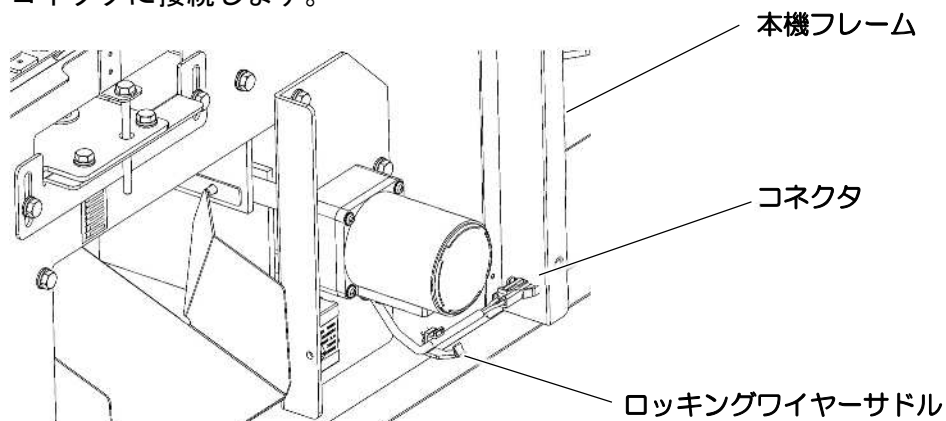
(M6×12)

…3個



8.3 姿勢調整部の組付け (つづき)

- (3) 姿勢調整部の配線は、ロッキングワイヤーサドルで固定後、本機フレームにあるコネクタに接続します。

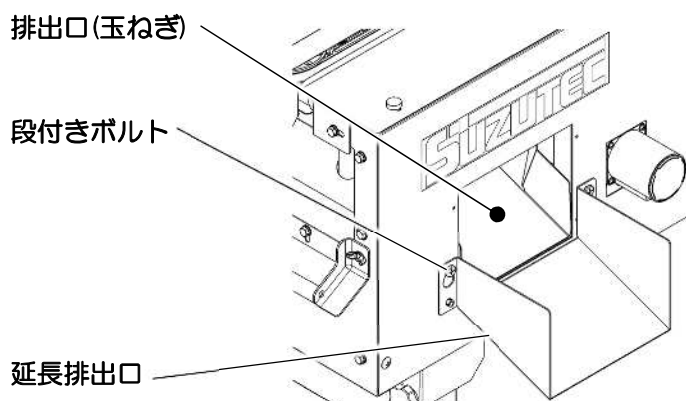


- (4) サイドカバー(L)を元の位置に戻し、化粧ネジとトラスネジで固定します

8.4 延長排出口の組付け

延長排出口は、排出口(玉ねぎ)にある段付きボルトに引掛けてください。

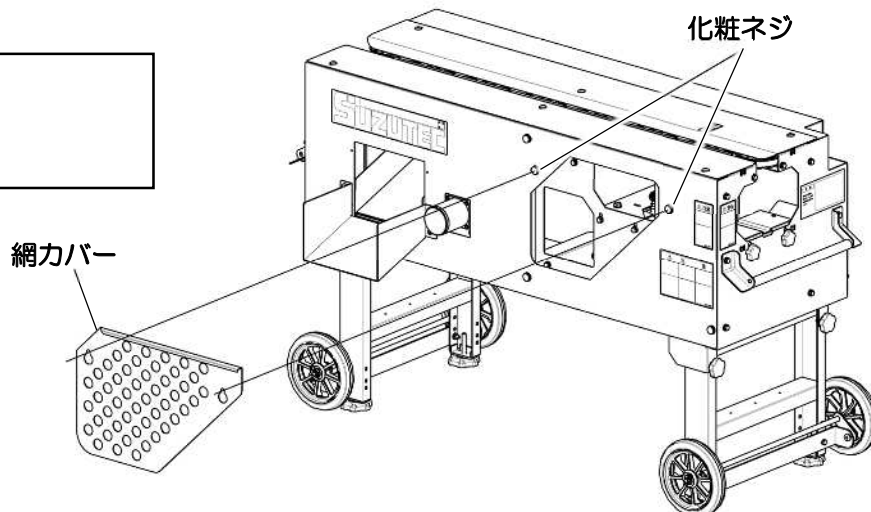
[必要な部品]
D 延長排出口
…1 個



8.5 網カバーの組付け

化粧ネジを緩め、緩めたところに網カバーを引掛けてください。

[必要な部品]
E 網カバー
…1 個



8.6 本機の設置

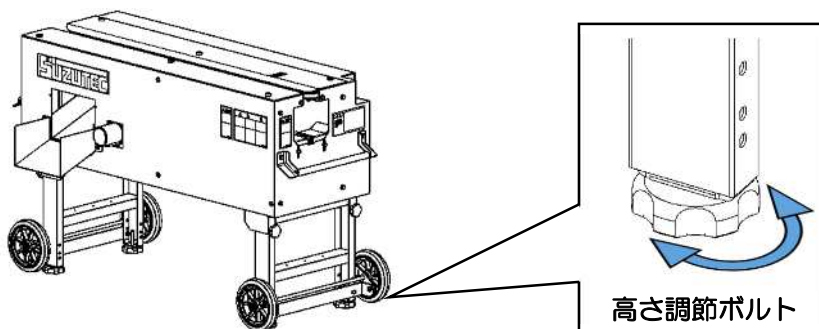


注意

長い距離や段差・急な傾斜のある地面での移動は避けてください。

キャスターと地面とのすき間に足先や手などをはさまないように注意してください。

- (1) 平坦な場所を選び、設置してください。
移動中方向を変える際は、取っ手を持って前脚を浮かせて移動します。
- (2) 本機の高さ調節ボルト（4ヶ所）を回して、前後左右の水平をとります。



8.7 スプロケットの掛替え（50Hz 地区のみ）

本機は出荷時 60Hz 地区用に組付けています。50Hz 地区でご使用の場合は必ず作業前にスプロケットの掛替えを行ってください。



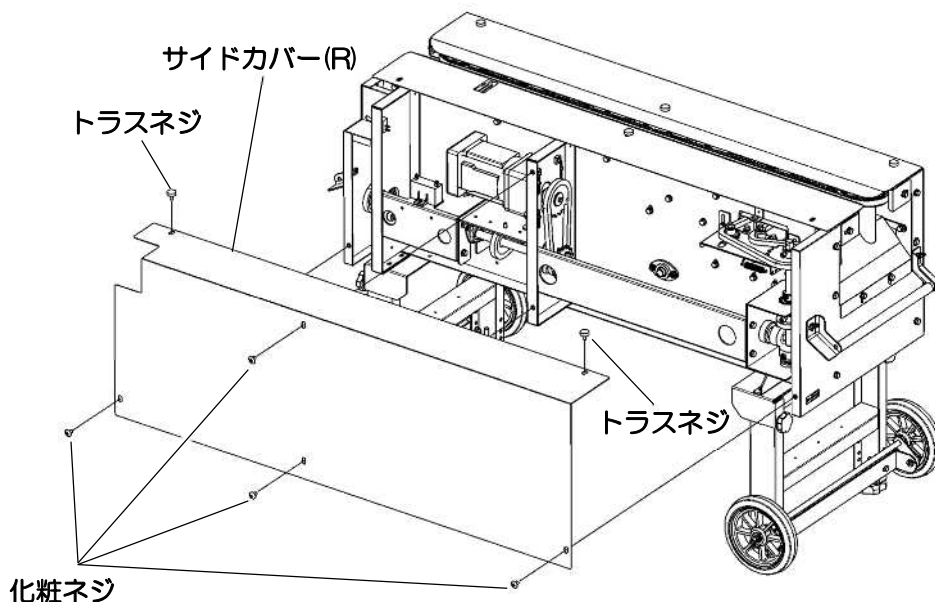
注意

必ず電源プラグを抜いて行ってください。

電源スイッチに誤って触れると本機が作動します。回転部に巻き込まれるなど、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

取外したカバーは必ず取付けてください。衣服が巻き込まれ傷害事故を引き起こすおそれがあります。

- (1) 化粧ネジ（4ヶ所）とトラスネジ（2ヶ所）を外し、サイドカバー（R）を取外します。



8.7 スプロケットの掛替え (50Hz 地区のみ) (つづき)

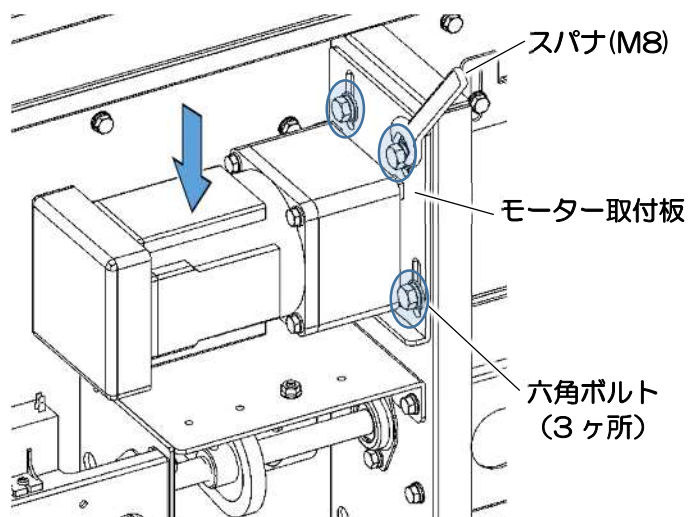
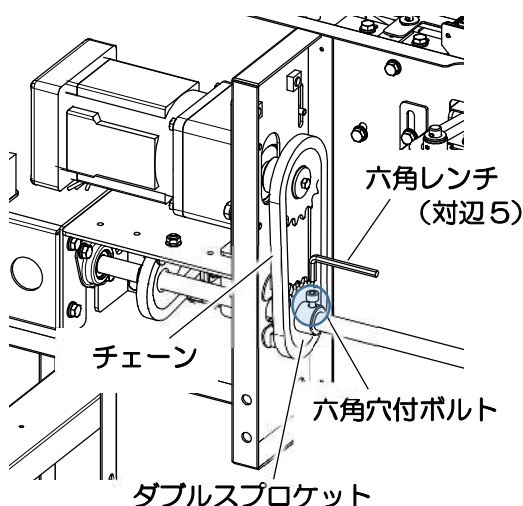
- (2) ダブルsproケットの六角穴付ボルト(1ヶ所)をゆるめます。
 モーター取付板の六角ボルト(3ヶ所)をゆるめ、チェーンが十分たるむようモーターを下げます。



注意

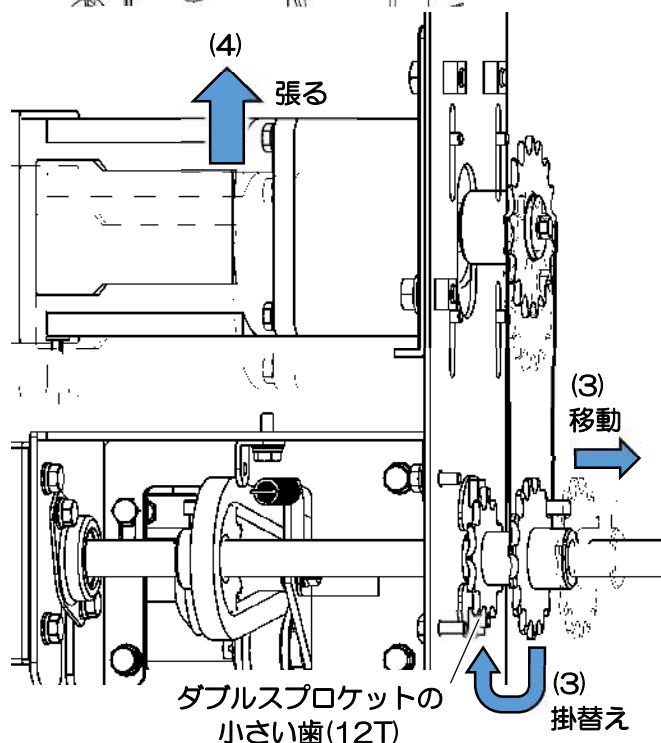
モーター取付板の六角ボルトをゆるめるとモーターが急に落下することがあります。

モーターやフレームに手などを挟まないよう注意してください。



- (3) ダブルsproケットを約 10 mm 矢印の方向へ移動し、小さい歯(12T)へチェーンを掛替えます。
 (4) モーターを上げてチェーンを張り、モーター取付板の六角ボルト(3ヶ所)を固定します。
 (注意) チェーンの張りすぎに注意してください。

★ チェーンをダブルsproケットの大きい歯(15T)に掛けてある場合は 60Hz 地区の設定、小さい歯(12T)に掛けてある場合は 50Hz 地区の設定です。



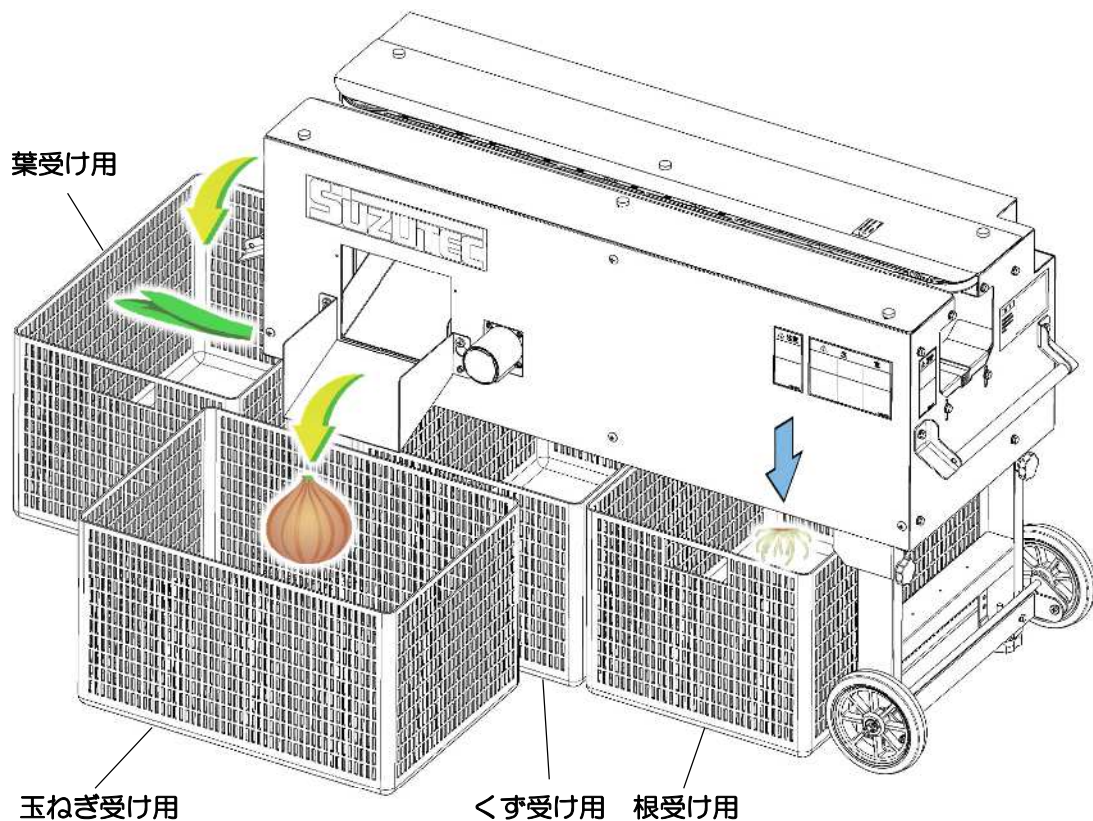
- (5) チェーンがまっすぐになる位置で、ダブルsproケットを六角穴付ボルトで固定します。
 (6) サイドカバー(R)を元の位置に戻し、化粧ネジとトラスネジで固定します。

ポイント!

ダブルsproケットが1回転する間に1回カツンと異音がする場合は、(5)に戻りダブルsproケットの歯の位置を微調整してください。

8.8 コンテナの設置

4つのコンテナを設置すると片づけ作業が軽減できます。
(コンテナ推奨サイズ：たて 365×よこ 520 mm×高さ 305 mm)

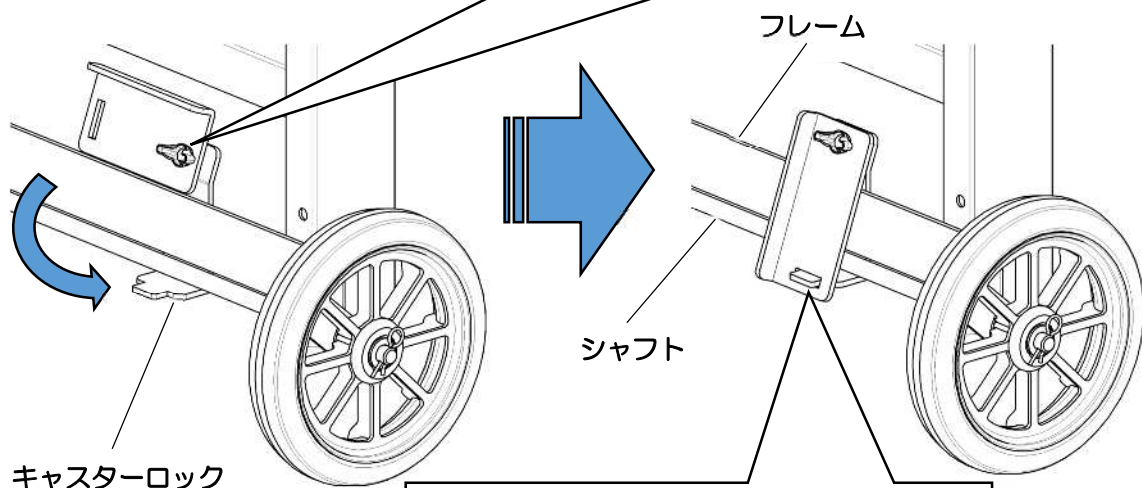


8.9 キャスターロックの使い方

キャスターロックは、タイヤが利いた状態から不意に解除されるのを防ぐ部品です。

[必要な部品]
Fキャスターロック
…2個

(1) チョウネジを緩めてキャスターのフレームにかける



(2) プレートを回転させて、キャスターのフレームとシャフトを一緒にまとめる

9. 乾燥玉ねぎを調製する時の調節



注意

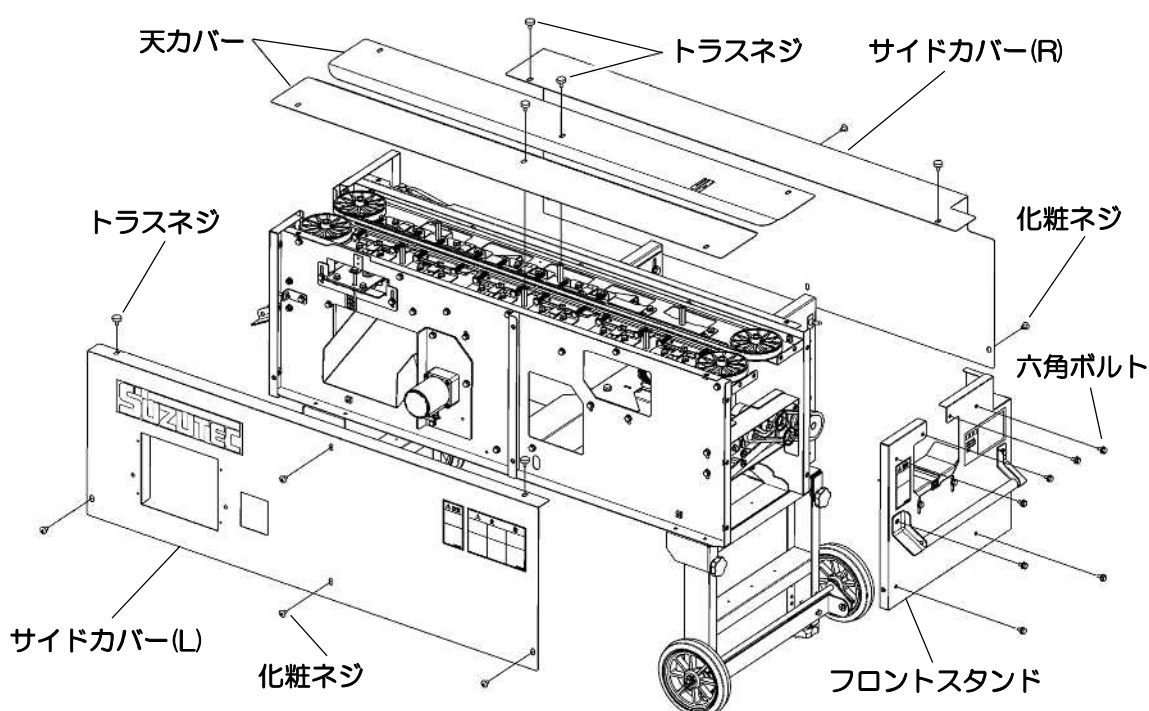
必ず電源プラグを抜いて行ってください。
電源スイッチに誤って触れると本機が作動します。回転部に巻き込まれるなど、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

取外したカバーは必ず取付けてください。衣服が巻き込まれ傷害事故を引き起こすおそれがあります。

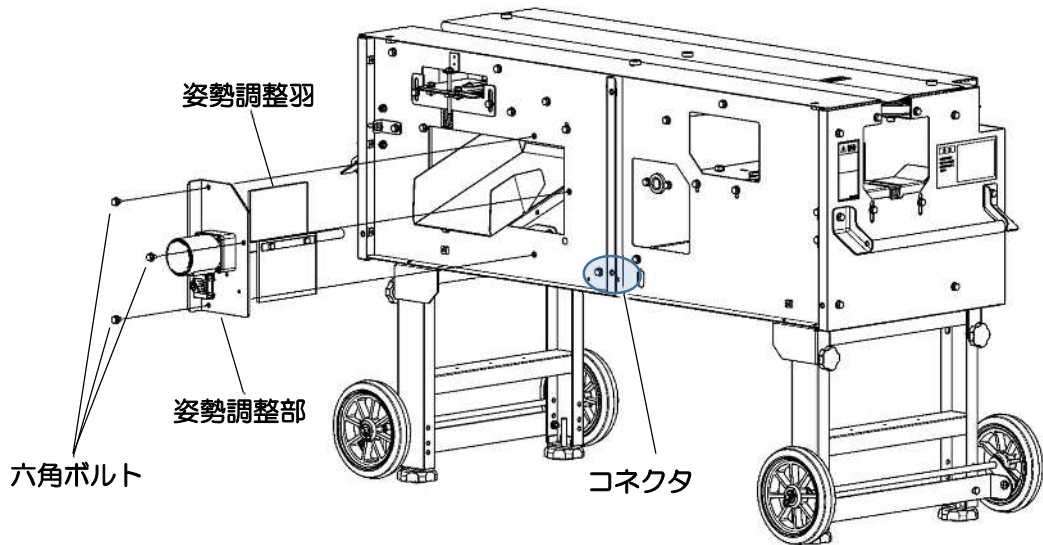
- ※ 青切り玉ねぎを調製する際の本機の調節と、乾燥玉ねぎを調製する際の本機の調節は異なります。あべこべの調節で玉ねぎを調製しないでください。
- ※ この調節は本機の初期位置です。玉ねぎの状態に沿った調節を「11. 玉ねぎの仕上がり調節」に則って行ってください。
- ※ 青切り玉ねぎを調製する場合は、下表を参照し調節を元に戻してください。

項目	青切り玉ねぎ用調節	乾燥玉ねぎ用調節
(3) 姿勢調整部	組付ける	組付けない
(4) 根起しローラー間の幅	広く	狭く
(5) 玉ねぎレール(後)の位置	長穴上揃え	長穴下揃え
(5) 玉ねぎレール(後)間の幅	広く(長穴外揃え)	狭く(長穴内揃え)
(6) 葉切り板刃の位置	丸刃被り量少なく	丸刃被り量多く
(7) 切断葉ガイドの位置	左寄せ	右寄せ
(9) バネ調節板の位置	A2, B1, C1, D1, E1	A4, B3, C3, D2, E2
(12) 天カバー間の幅	広く(外側寄せ)	狭く(内側寄せ)

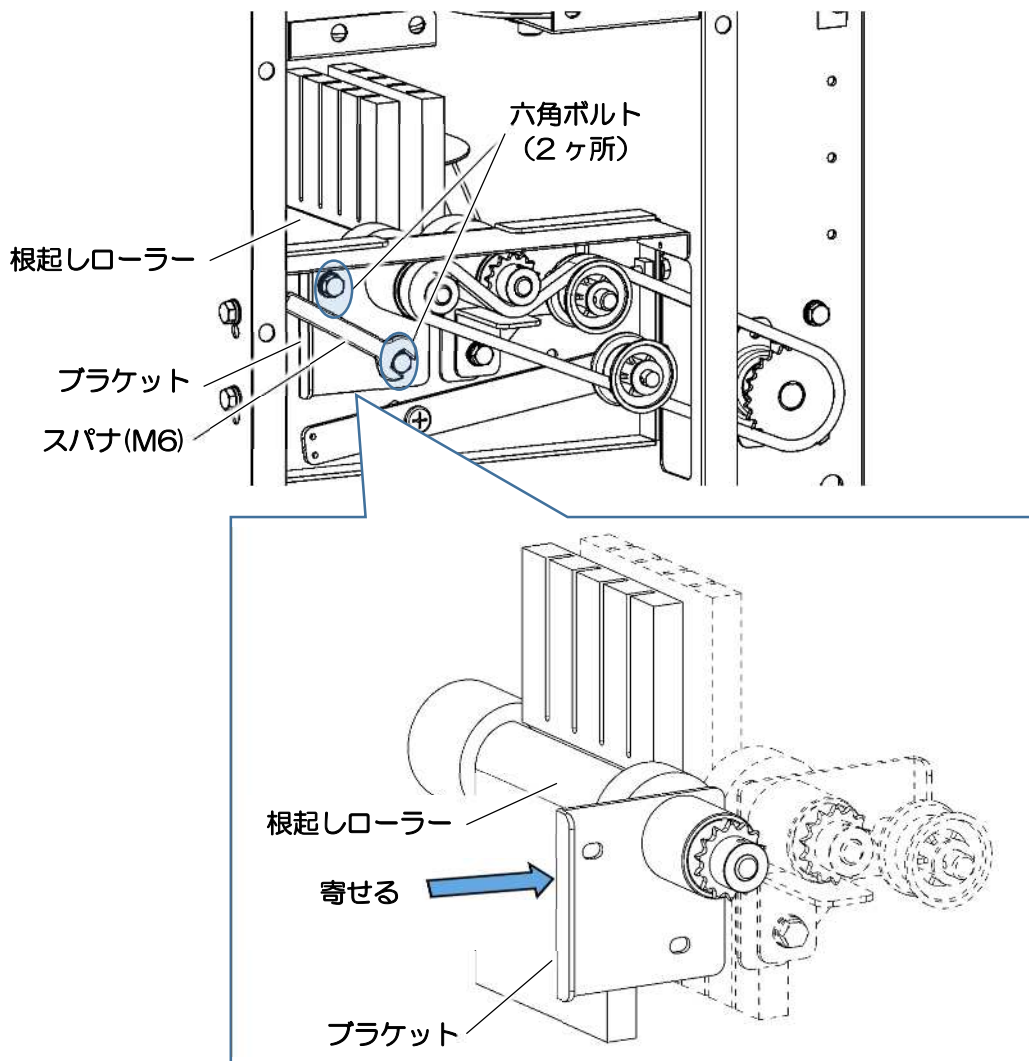
- (1) 化粧ネジ(8ヶ所)とトラスネジ(6ヶ所)を外し、サイドカバー(L)(R)と天カバーを取外します。
- (2) 六角ボルト(7ヶ所)を外し、フロントスタンドを取外します。



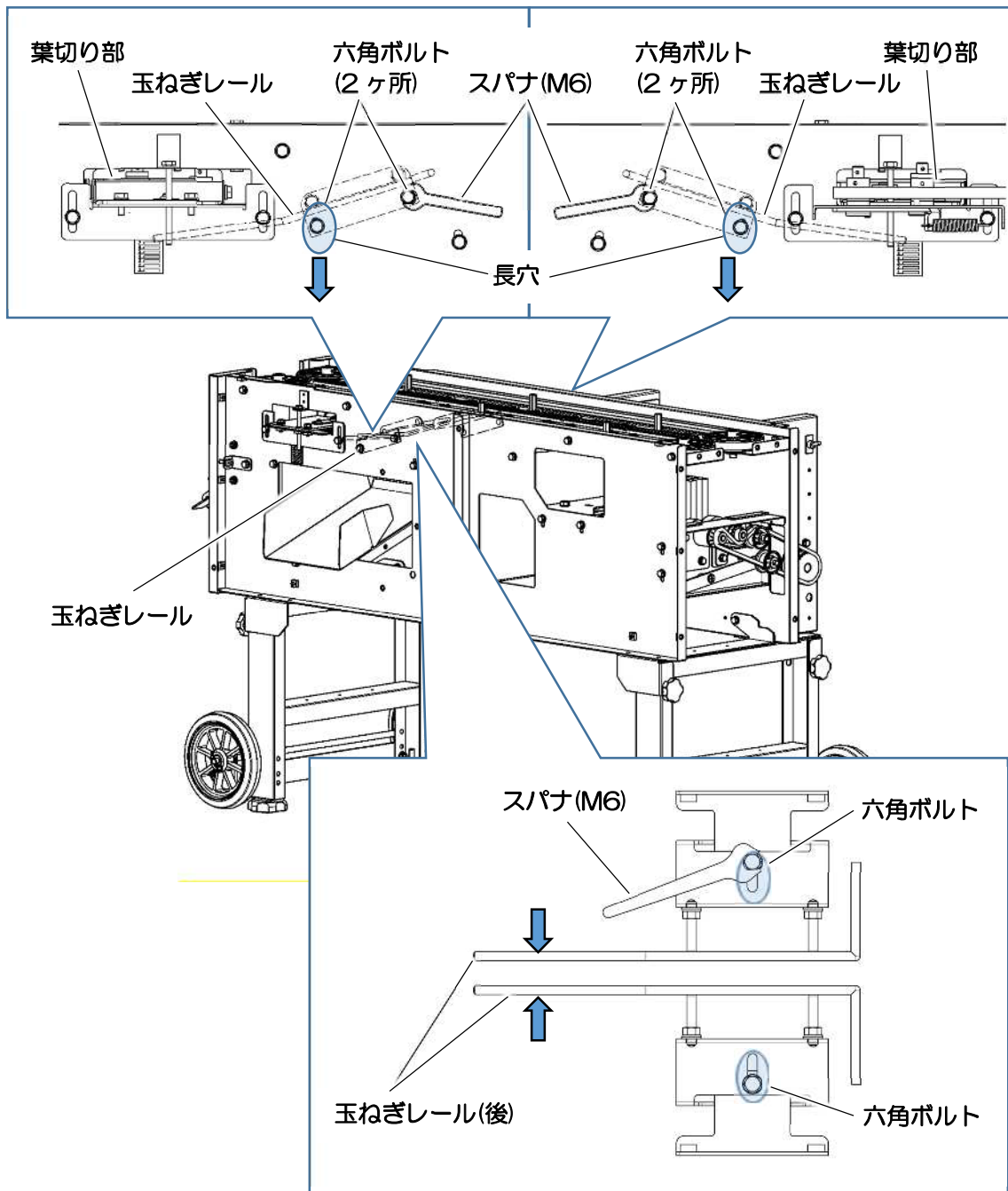
- (3) 姿勢調整部を、六角ボルト(3ヶ所)とコネクタを外して取外します。
 ※ 乾燥玉ねぎを調製する際は必ず取外してください。搬送中の乾燥玉ねぎを姿勢調整羽で叩いてしまうと、搬送途中で葉がちぎれたり、葉の調製長さが揃わなかったりします。



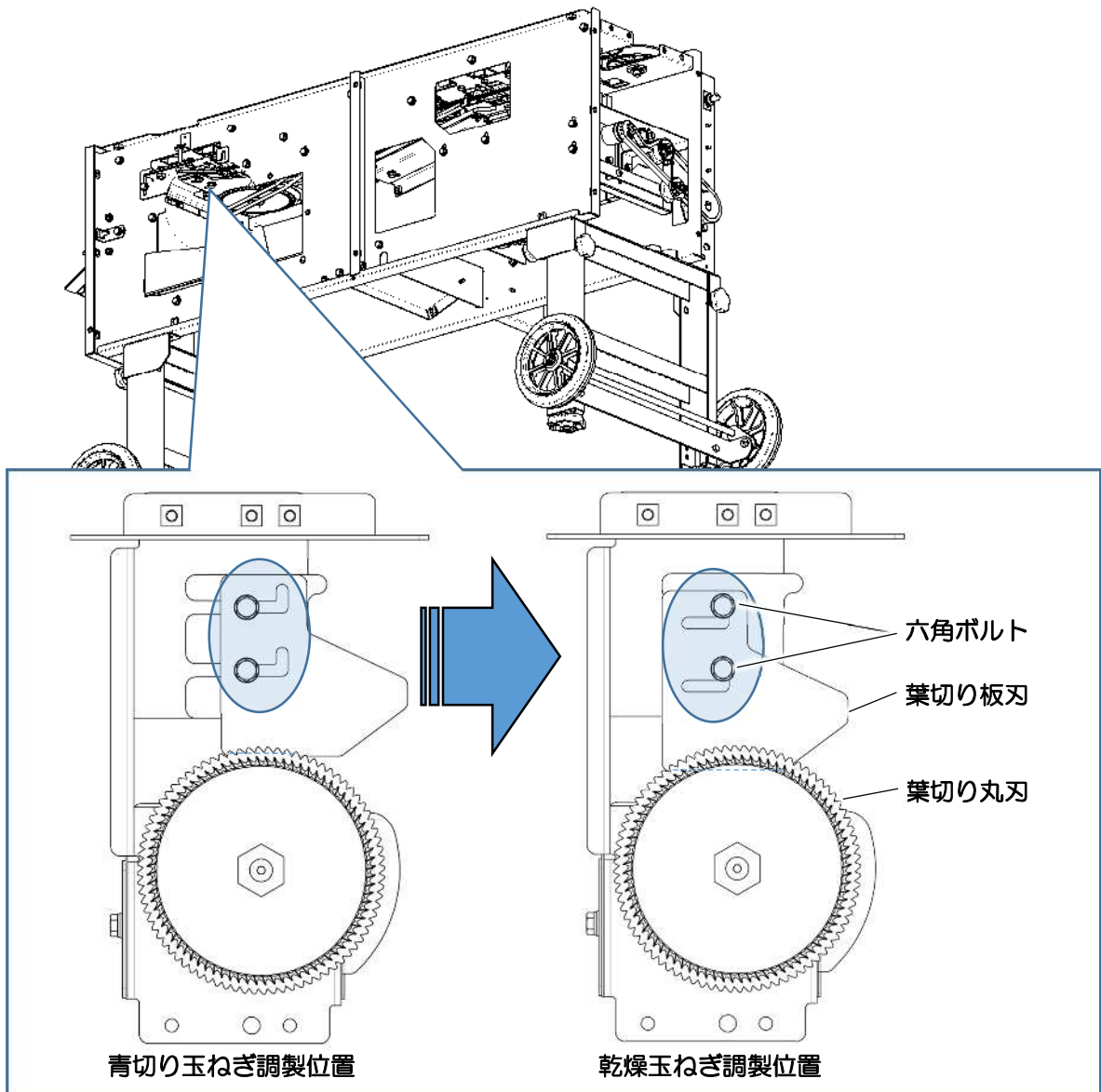
- (4) フロントスタンドの内部にある六角ボルト(2ヶ所)を緩め、ブラケットを押し、根起しローラーを内側に寄せて固定します。



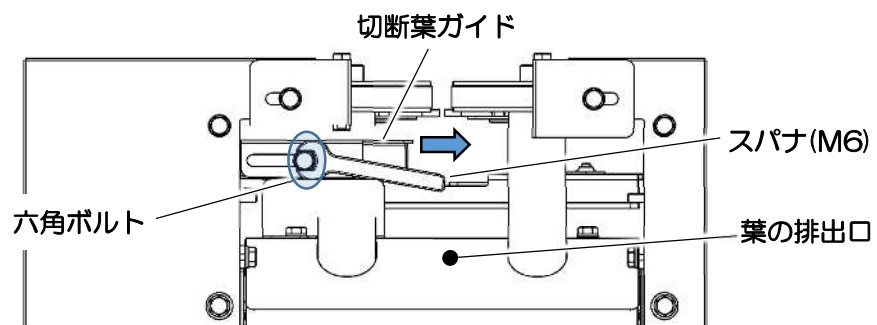
- (5) 玉ねぎレール(後)を、六角ボルト(4ヶ所)を緩め長穴下に下げて固定し、六角ボルト(2ヶ所)を緩め内側に寄せて固定します。



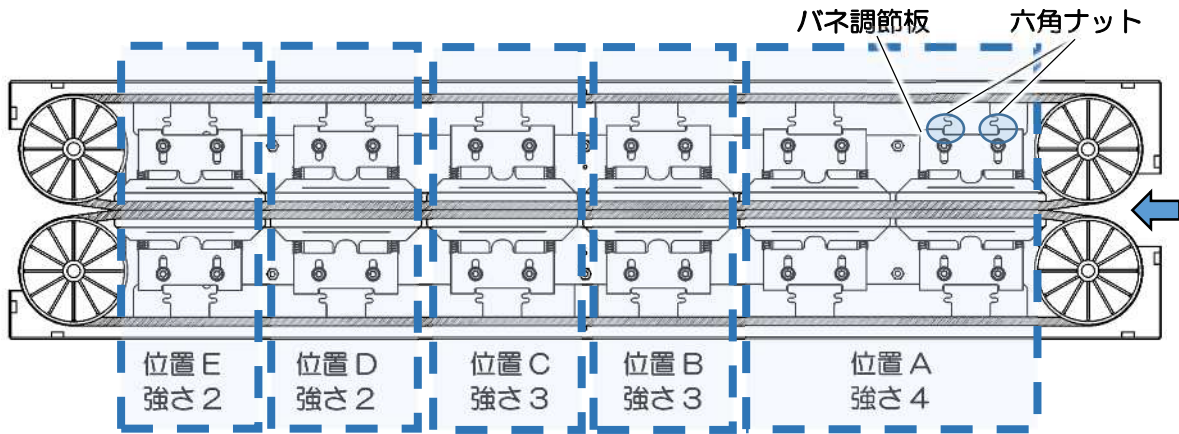
- (6) 葉切り部にある六角ボルト(2ヶ所)を緩め、葉切り板刃の位置を葉切り丸刃に大きく被るように調節します。



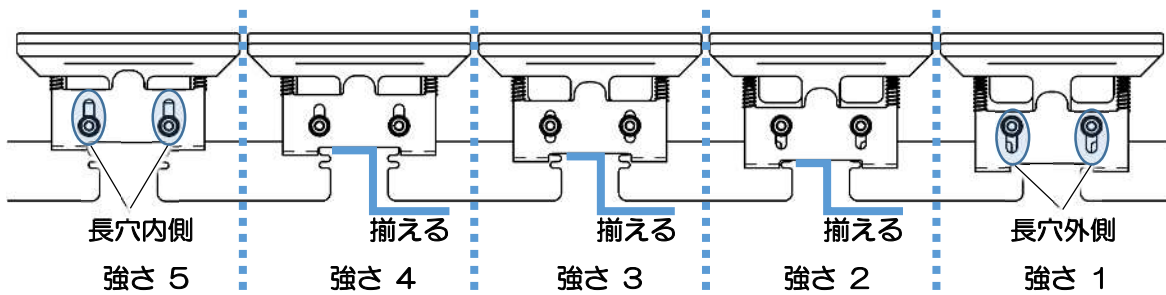
- (7) 葉切り部にある六角ボルト(1ヶ所)を緩め、切断葉ガイドの位置を右側に寄せて固定します。



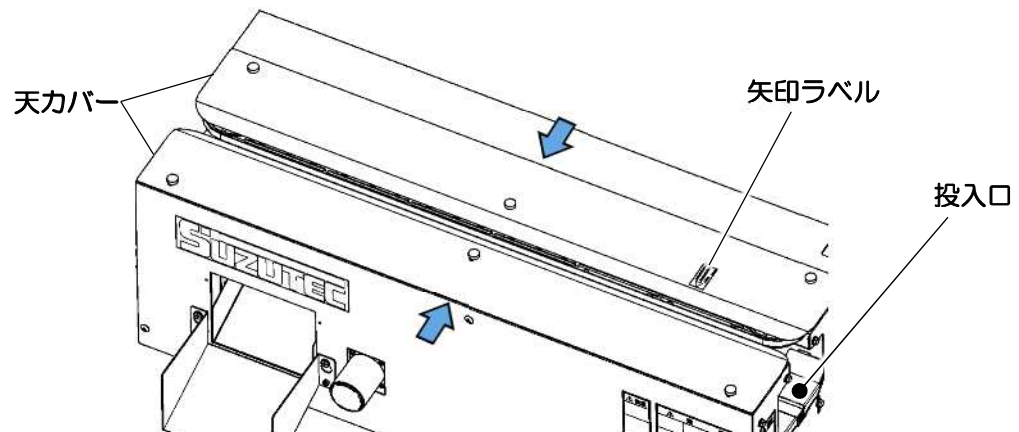
- (8) バネ調節板の六角ナットをゆるめます。
- (9) 各位置のバネ調節板を指定強さに調節し、六角ナットで固定します。



<押し付け強さの調節位置>



- (10) フロントスタンドを元の位置に戻し、六角ボルトで固定します。
- (11) サイドカバー(L)(R)を元の位置に戻し、化粧ネジとトラスネジで固定します。
- (12) 天カバーを内側に寄せて、トラスネジで固定します。矢印ラベルがある天カバーを投入口から見て右側に取り付けてください。



10. 使い方



注意

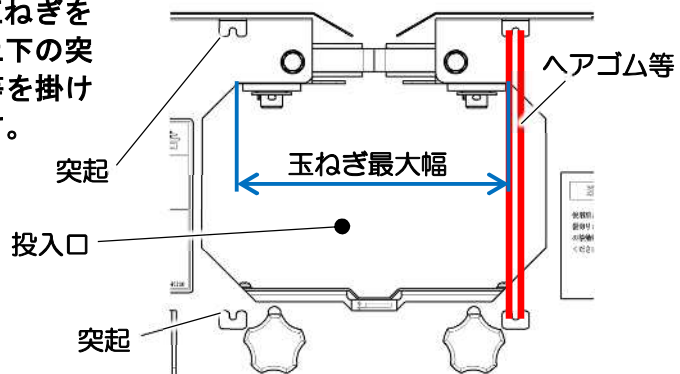
電源電圧は AC100V±5V を安定して供給してください。
適切な電源電圧でないと、故障や動作不良の原因となります。

- (1) 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認し、電源プラグを AC100V のコンセントに差込みます。
- (2) 電源スイッチを「ON」にしてください。
- (3) 玉ねぎの葉の上部を片手で持ち、根が真下を向くように、投入口から玉ねぎのせ台に載せます。
- (4) 玉ねぎの葉を持ったまま、葉と玉ねぎが垂直になるように搬送Vベルトの間に葉をくい込ませます。
このとき、玉ねぎが玉ねぎのせ台から浮き上がらないように注意してください。



- (5) 搬送Vベルトが葉を挟み、玉ねぎが搬送され始めたら葉から手を離します。
 - (6) 作業工程：『根を伸ばして揃える』→『根を切断』→『玉ねぎの姿勢調整』→『葉を切断』
 - (7) 調製された玉ねぎは、側面の玉ねぎ排出口から排出されます。
 - (8) 玉ねぎを連続して投入する場合は、上面の赤い矢印位置まで玉ねぎの葉が来てから次の玉ねぎを入れてください。
- (注意) 太い葉と細い葉を続けて搬送すると玉ねぎが途中で落下する恐れがあります。
(注意) 玉ねぎの大きさや形状によって仕上がりが異なる場合があります。
本作業をする前に試し切りすることをおすすめします。

- (注意) 右図の位置より幅の広い玉ねぎを投入しないでください。上下の突起に渡すようにヘアゴム等を掛けるとわかりやすくなります。



- (9) 休憩時や作業終了時は電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜いてください。



注意

使用中、玉ねぎが製品内部にひっかかった場合は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと取出してください。

1 1. 玉ねぎの仕上がり調節



注意

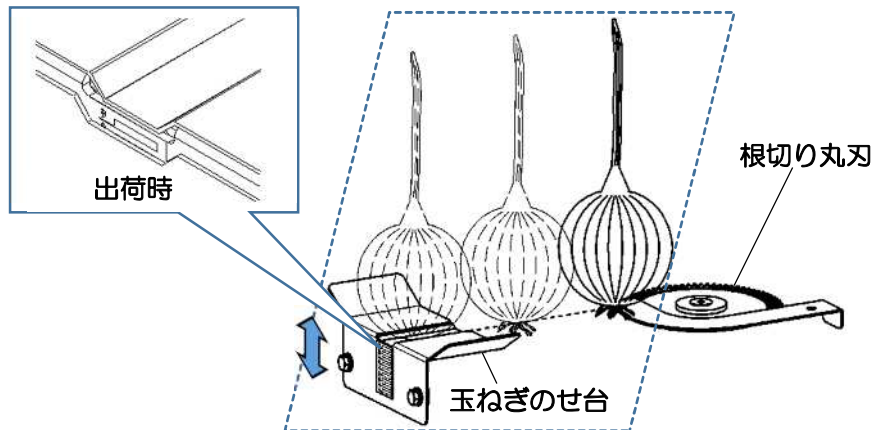
調節の際は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

回転部に巻き込まれるなど、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

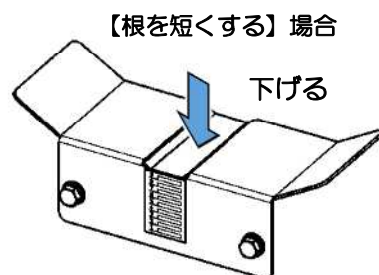
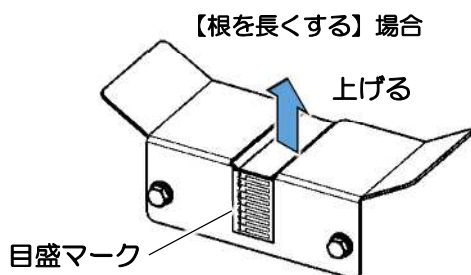
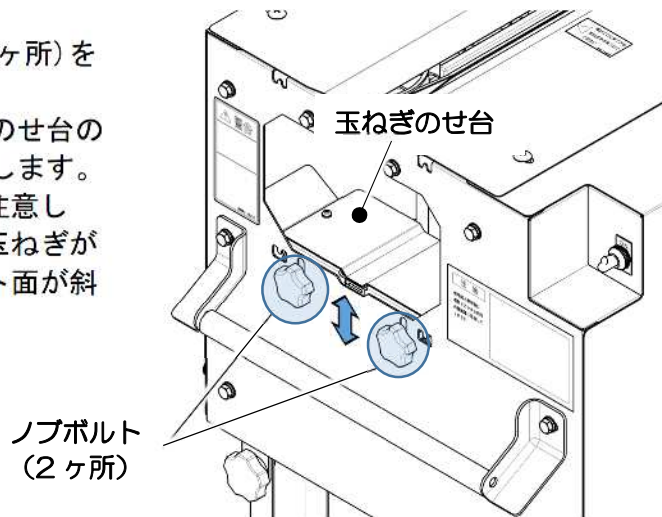
取外したカバーは必ず取付けてください。衣服が巻き込まれ傷害事故を引き起こすおそれがあります。

1 1. 1 根の長さの調節

玉ねぎが希望する根の長さに仕上がるよう玉ねぎのせ台の高さを調節します。
※根切り丸刃の高さは変わりません。玉ねぎのせ台の高さを調節することで、根切り丸刃に当たる玉ねぎの高さが変わります。



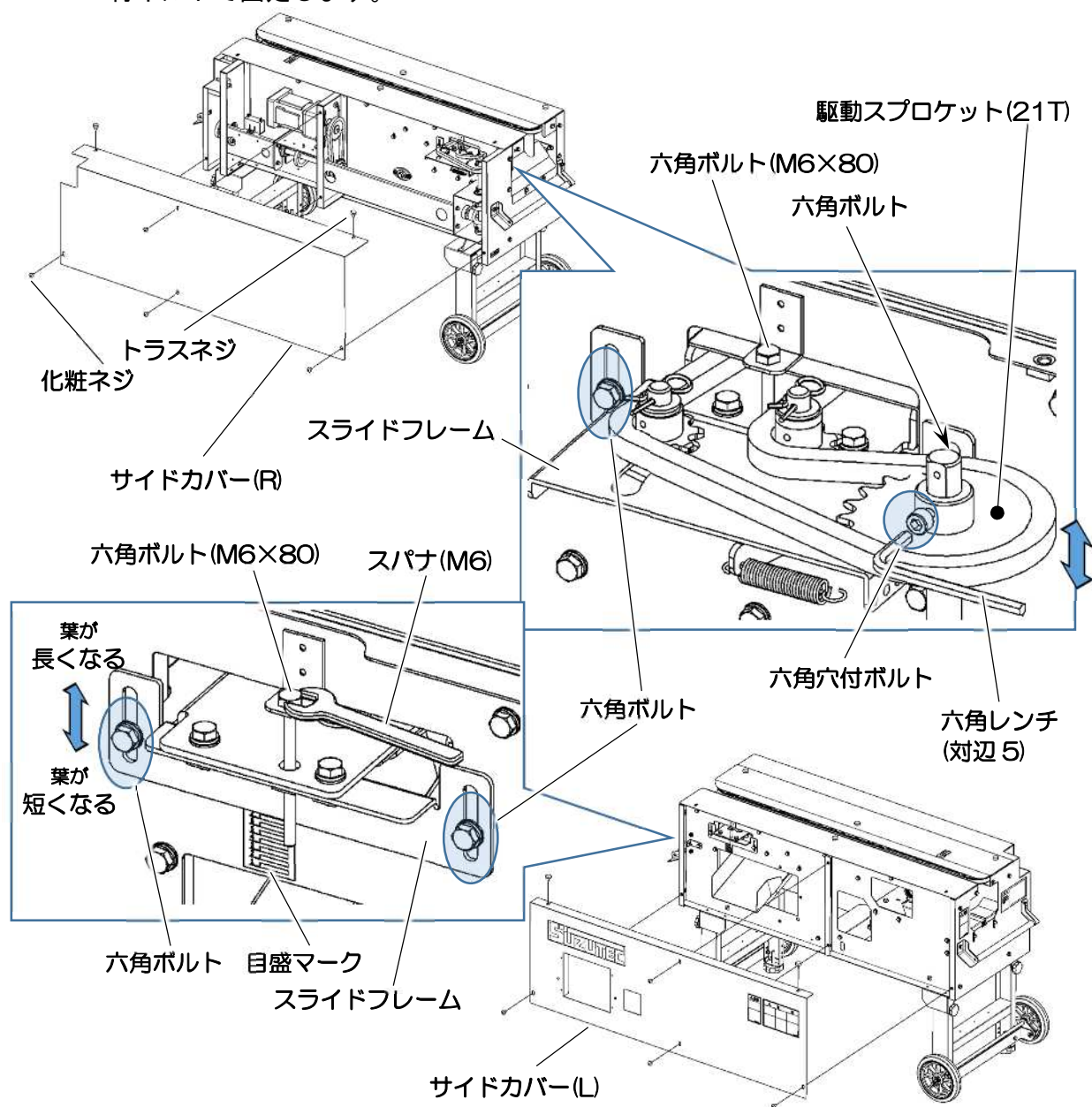
- (1) 玉ねぎのせ台のノブボルト(2ヶ所)をゆるめます。
 - (2) 目盛マークを目安に、玉ねぎのせ台の位置を決め六角ボルトで固定します。
- (注意) 玉ねぎのせ台の下げ過ぎに注意してください。下げ過ぎると玉ねぎが斜めに搬送され、根のカット面が斜めになります。



1 1.2 葉の長さの調節

玉ねぎが希望する葉の長さに仕上がるよう葉切り丸刃の高さを調節します。

- (1) 化粧ネジ(8ヶ所)トラスネジ(4ヶ所)を外し、サイドカバー(L)とサイドカバー(R)を取外します。
- (2) 左右のスライドフレームの六角ボルト(各2ヶ所)と駆動スプロケット(21T)の六角穴付ボルトをゆるめます。
- (3) 左右の目盛マークを目安に六角ボルト(M6×80)を締め込む(上げる)かゆるめる(下げる)ことで葉切り丸刃の高さを調節します。1回転で1mm、刃の高さが変わります。
- (4) 葉切り丸刃の高さが決まったら左右のスライドフレームの六角ボルト(各2ヶ所)を固定します。
- (5) ローラーチェーンの高さがまっすぐになるよう駆動スプロケット(21T)を六角穴付ボルトで固定します。



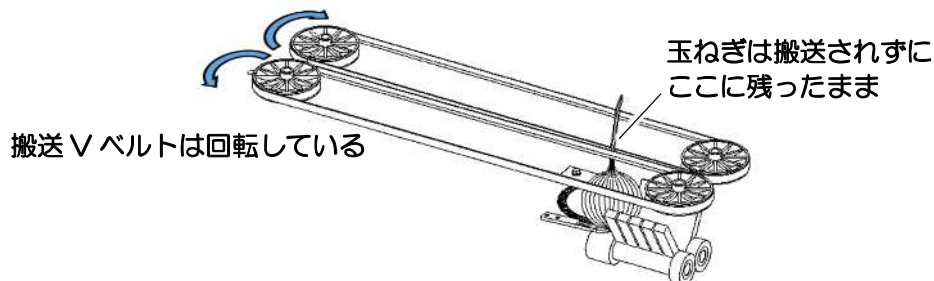
1 1.3 葉を挟む強さを調節

玉ねぎにより葉を挟む適正強さが異なります。

①～③のうちいずれかの症状が多く発生する場合は葉を挟む強さを調節してください。

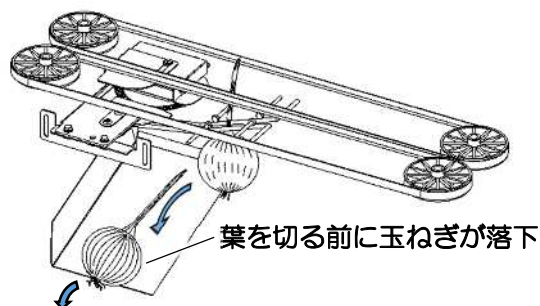
【①葉が搬送Vベルトから抜けて根起しローラーまたは根切り丸刃の上に玉ねぎが残ってしまう】

→(原因)根を引っ張る力が「葉を挟むVベルトの強さ」より強い



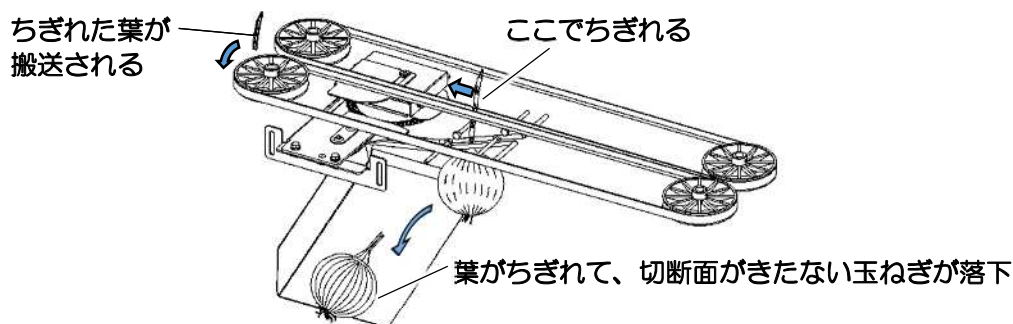
【②葉が搬送Vベルトから抜けて葉が切れずに排出されてしまう】

→(原因)玉ねぎを押下げる力が「葉を挟むVベルトの強さ」より強い



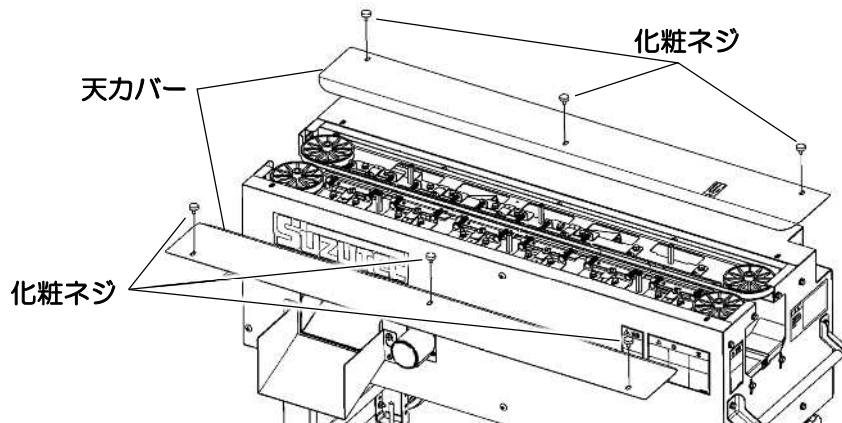
【③葉が搬送途中でちぎれて排出されてしまう】(乾燥玉ねぎの調製時)

→(原因)「葉を挟むVベルトの強さ」が強く、葉が弱くちぎれやすい



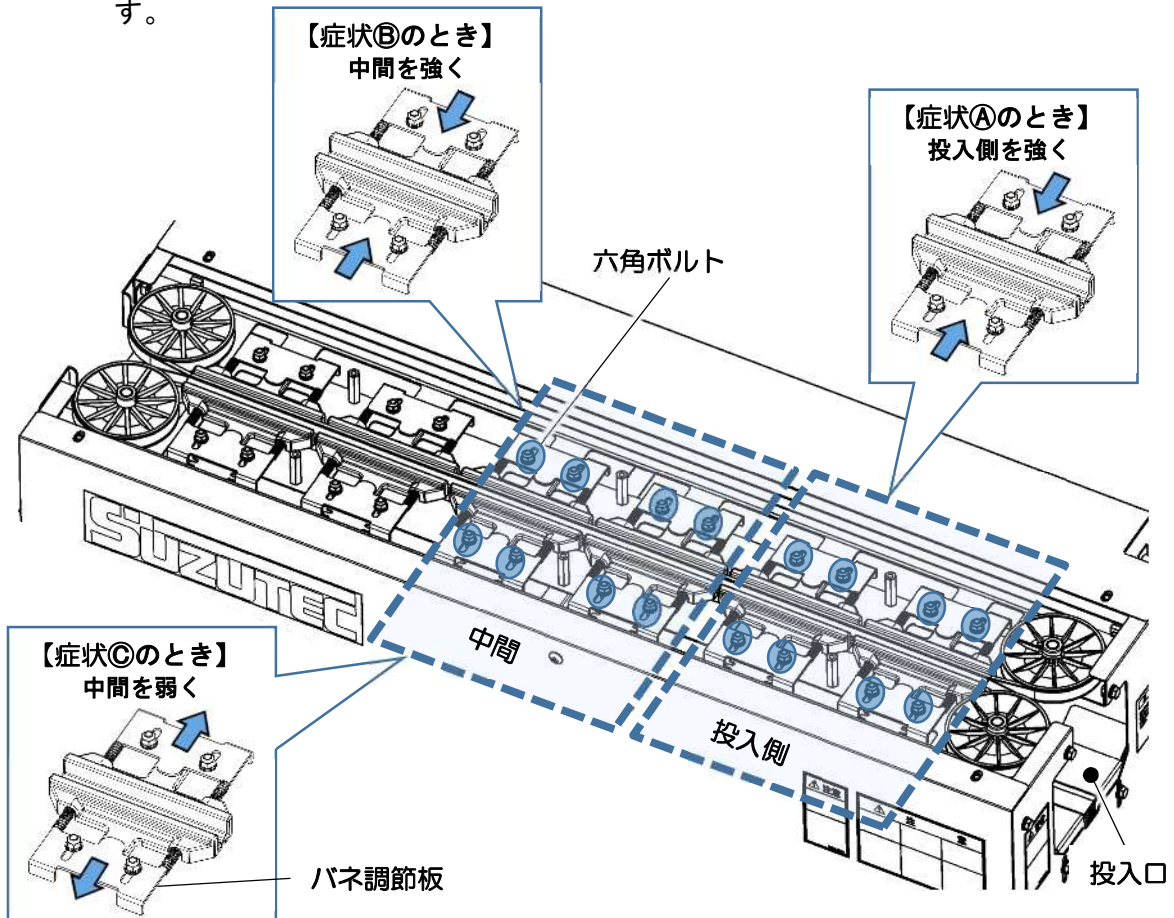
調節手順

(1) トラスネジ(6カ所)を外し、天カバーを取外します。

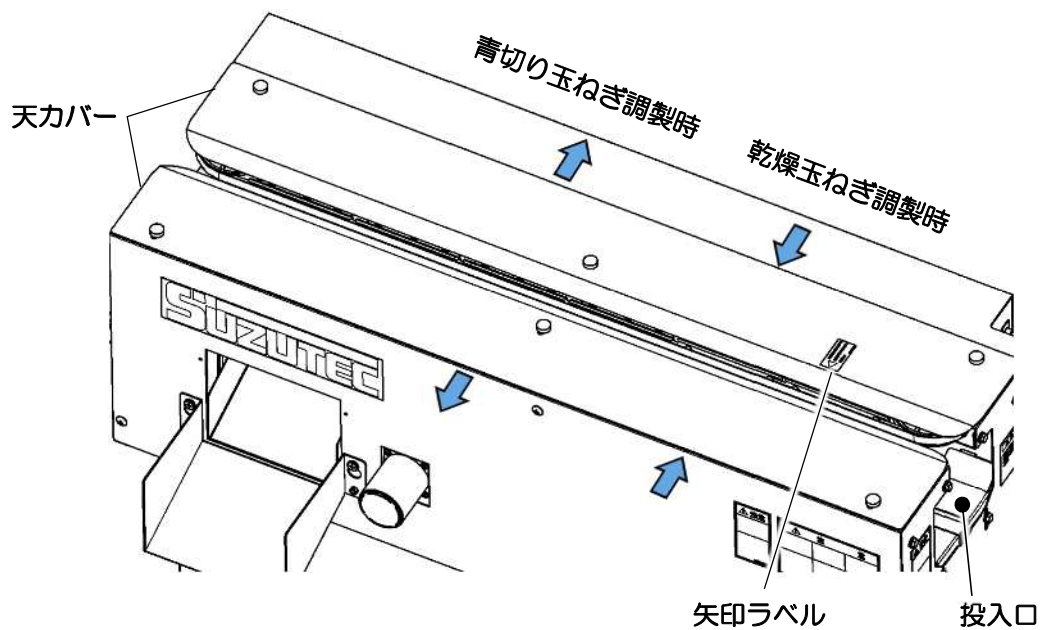


1 1.3 葉を挟む強さを調節（つづき）

- (2) バネ調節板の六角ナットをゆるめます。
- (3) 症状に応じた場所のバネ調節板を矢印の方向に動かし、六角ナットで固定します。



- (4) 天カバーを、青切り玉ねぎ調製時は外側に寄せて、乾燥玉ねぎ調製時は内側に寄せて、化粧ネジで固定します。矢印ラベルがある天カバーを投入口から見て右側に取り付けてください。



1 2. 各部の調節



注意

調節の際は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

回転部に巻き込まれるなど、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

取外したカバーは必ず取付けてください。衣服が巻き込まれ傷害事故を引き起こすおそれがあります。

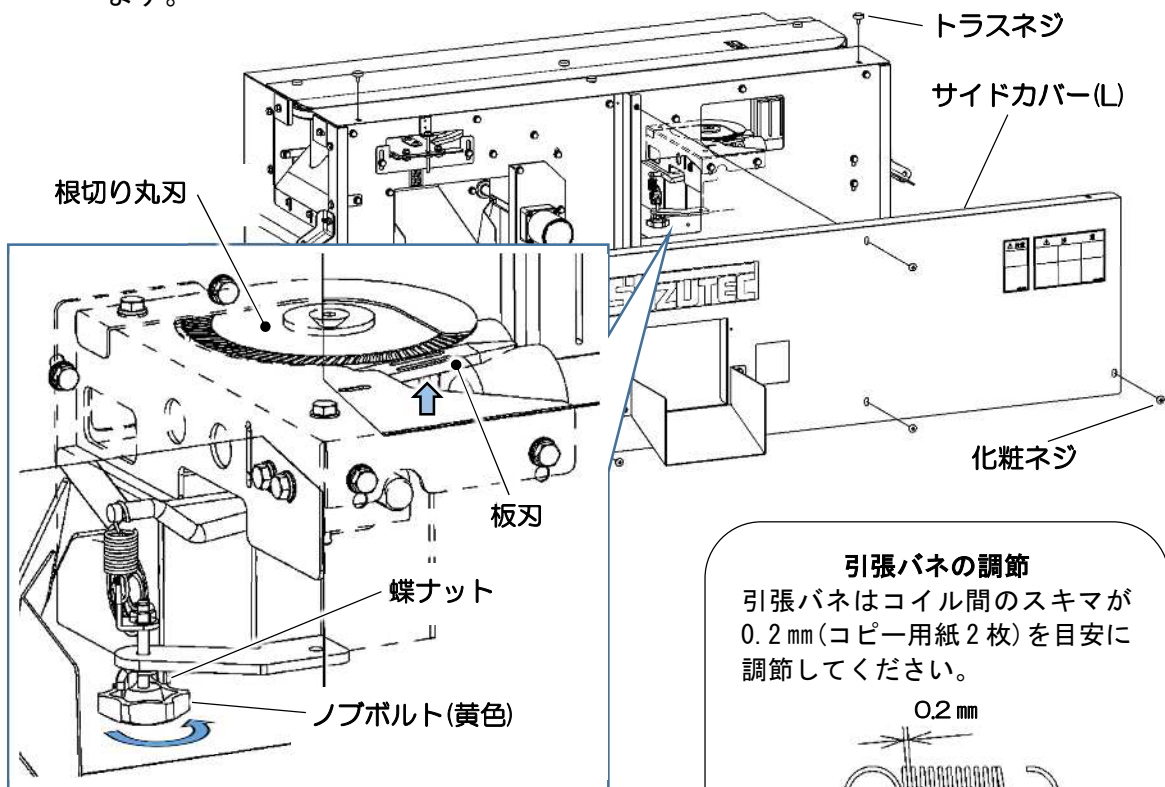
1 2.1 根の切れ具合の調節

(板刃が減り、根の切れ具合が悪くなってきた場合に行う)

(注意) 調製後の玉ねぎに長い根が3~4本残るようになったら、調節時期の目安です。

板刃の根切り丸刃への押しつけ具合で調節します。

- (1) 化粧ネジ(2ヶ所)とトラスネジ(4ヶ所)を外し、サイドカバー(L)を取外します。
- (2) 蝶ナットをゆるめてから黄色のノブボルトを右に半回転させ、押しつけを強くします。



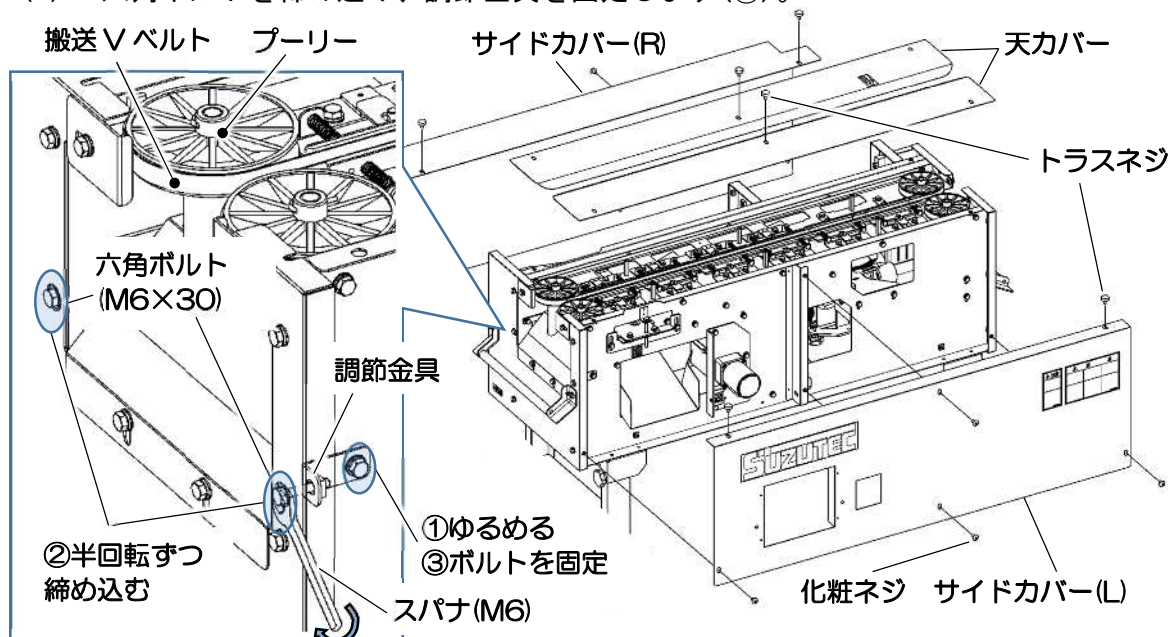
- (3) 蝶ナットを締め込み固定します。
- (4) サイドカバー(L)を元の位置に戻し、化粧ネジとトラスネジで固定します。

(注意) 板刃が根切り丸刃への押しつけが強すぎると根切り丸刃が正常に回転しない場合がありますので、ご注意ください。

1 2.2 搬送Vベルトの張り調節

(搬送Vベルトが伸び、プーリーがスリップする場合に行う)

- (1) 化粧ネジ(8ヶ所)とトラスネジ(6ヶ所)を外し、サイドカバー(L)、サイドカバー(R)、天カバーを取外します。
- (2) 左右の調節金具を固定している六角ボルトをゆるめます(①)。
- (3) 左右の六角ボルト(M6×30)を半回転ずつ締め込み搬送Vベルトを張ります(②)。
(注意) 搬送Vベルトの張りすぎに注意してください。
(注意) 搬送ベルトの張りをゆるめると六角ボルト(M6×30)の頭部がフレームから離れることがあります。その際はボルトの頭部をフレームへ押しつけてください。
- (4) 六角ボルトを締め込み、調節金具を固定します(③)。



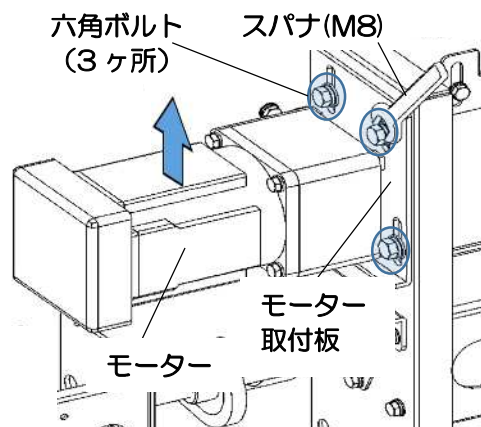
- (5) サイドカバー(L)、サイドカバー(R)、天カバーを元の位置に戻し、化粧ネジとトラスネジで固定します。

1 2.3 チェーンの張り調節

(モーター部のチェーンが伸び、異音がする場合に行う)

(注意) 自動チェーン張り機能について
モーター部以外のチェーン(4ヶ所)にはチェーンが伸びた分を自動で張る機能がついています。この機能が効かないほどチェーンが伸びてしまった場合はチェーンを交換してください。

- (1) 化粧ネジ(4ヶ所)とトラスネジ(2ヶ所)を外し、サイドカバー(R)を取外します。
- (2) モーター取付板の六角ボルト(3ヶ所)をゆるめます。
- (3) モーターを上げてチェーンを張り、モーター取付板の六角ボルトを固定します。
(注意) チェーンの張りすぎに注意してください。
- (4) サイドカバー(R)を元の位置に戻し、化粧ネジで固定します。



12.4 根切り丸刃と板刃の噛み合わせ調節

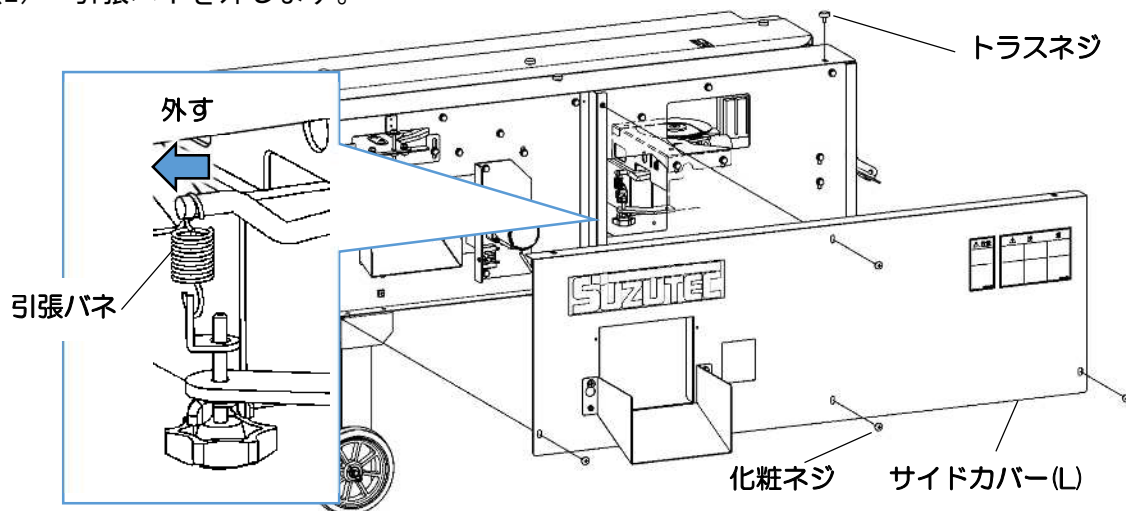
(板刃を交換した際に、根が切れない又は異音がある場合に行う)

【根切り丸刃と板刃が接触していない】と根は切れません。

【根切り丸刃と板刃が当たりすぎている】と「ジジジジ」と異音（接触音）がします。また、根切り丸刃・板刃の変形、早期摩耗の原因になります。

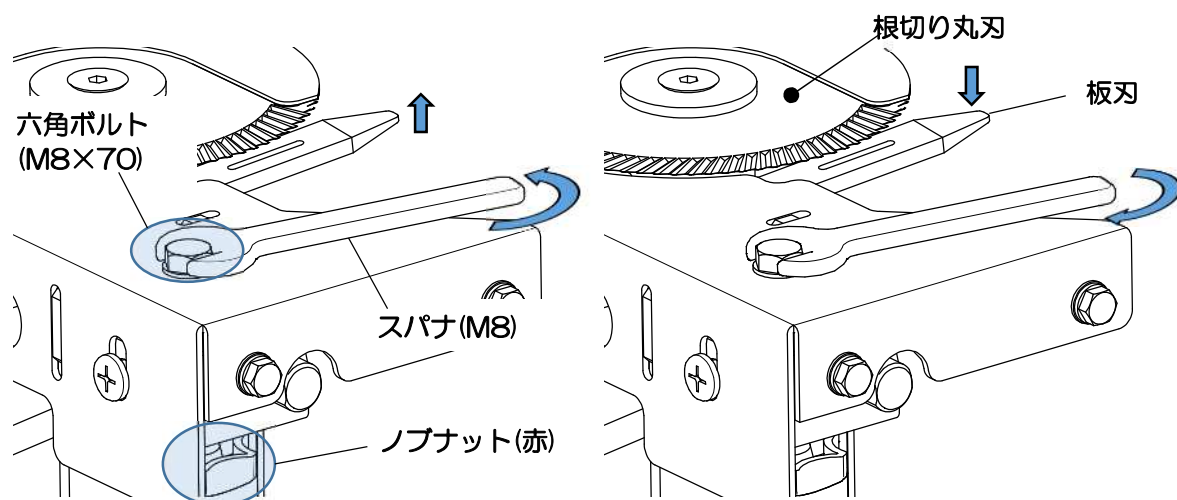
「根が切れる」「根切り部からジジジジと異音がない」この2点が調節の目安です。

- (1) 化粧ネジ(4ヶ所)とトラスネジ(2ヶ所)を外し、サイドカバー(L)を取外します。
- (2) 引張バネを外します。



- (3) ノブナット(赤)をゆるめます。
- (4) 六角ボルト(M8×70)を症状に応じた方向に回し、板刃の角度を調節します。

【根切り丸刃と板刃が接触していない】場合 【根切り丸刃と板刃が当たりすぎている】場合



- (5) 板刃の角度が決まったらノブナット(赤)を固定します。
- (6) 引張バネを元の位置にかけます。
- (注意) 引張バネの調節は「12.1 根の切れ具合の調節」を参照してください。
- (7) サイドカバー(L)を元の位置に戻し、化粧ネジとトラスネジで固定します。

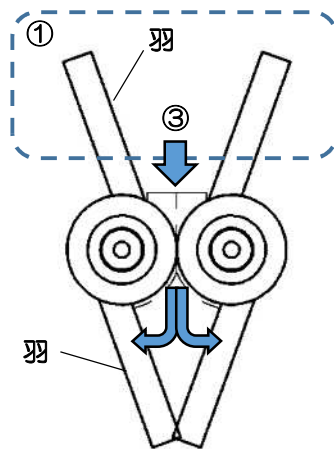
1 3 . 手入れ・保管上の注意



注意

整備・保管の際は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
コンセントに差込んだまま行くと、事故の原因になります。

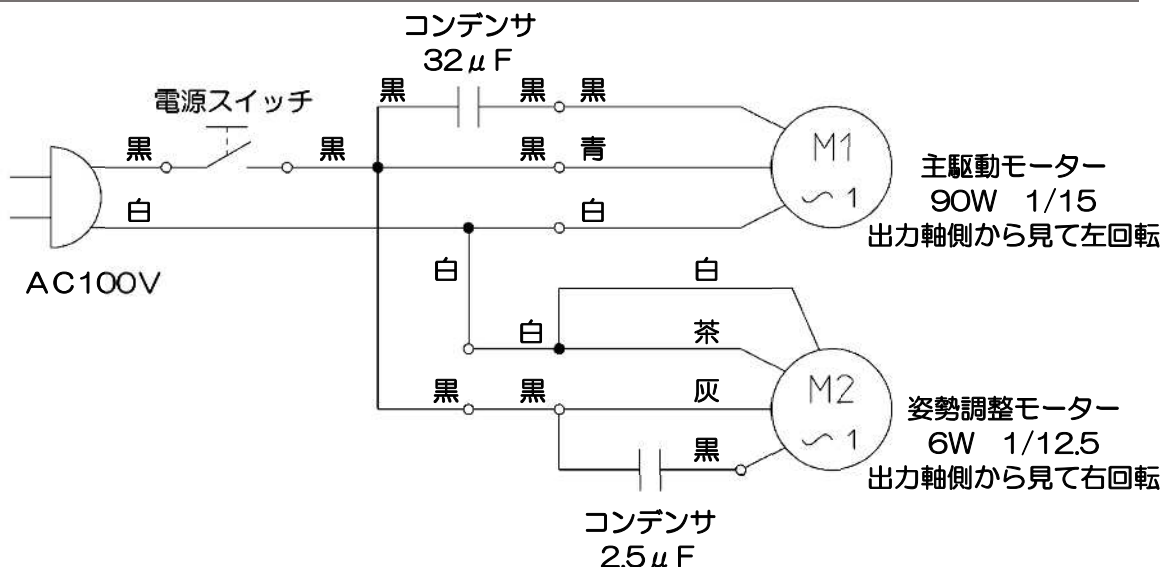
- (1) カバーを取外し、切りカスやゴミをブラシやエアなどで掃除してください。
(注意) 水洗いはしないでください。
(注意) シンナー・ベンジン・アルコールなどは使用しないでください。
変色・変形・ひび割れの原因となります。
- (2) 回転部、歯車、スプロケット、チェーン、バネへ食品機械用潤滑油で十分に注油してください。
- (3) 巻きぐせ防止のため根起しローラーは下図の位置で保管してください。



- ① 一方の羽が上部のこの向きになるまで、電源スイッチのON・OFFを繰り返します。
- ② 電源スイッチがOFFになっていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ③ もう一方の羽を上から下へ押し出し、羽の巻きつきを解除します。

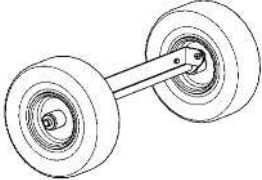
- (4) 本機はプラスチックを使用しておりますので、直射日光を避けた湿気の少ないところに保管してください。
- (5) 雨を避け、平坦なところに保管してください。
- (6) 保管の際は、横倒しにしたり上に物を置いたりしないでください。

1 4 . 回路図



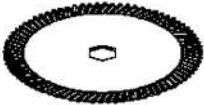

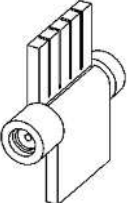
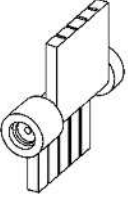
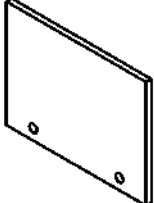
15. 別売部品

■オプション部品

部品名称	イラスト	部品番号	こんなときに
キャスター TCR30		29222-00070	幅広タイヤで土に潜らない。 (タイヤ幅 標準 27mm→80mm) 圃場で作業するとき

※ 2輪で1セットです。4輪にする場合は2セットご購入ください。

■消耗部品

部品名称	イラスト	部品番号	こんなときに交換
円形ノコ刃 (根切り・葉切り ともに共通)		40013-41470	刃にひび割れ、欠け、 変形があるとき または 摩耗が著しいとき
板刃		40013-41482	刃にひび割れ、欠け、 変形があるとき または 摩耗が著しいとき
根起しローラー 完結L		40013-41940	表面の布が摩耗 またははがれて 根が切れないとき
根起しローラー 完結R		40013-41950	
姿勢調整羽		40013-43190	摩耗が著しいとき

16. 消耗部品の交換



注意

部品を交換する際は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

回転部に巻き込まれるなど、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

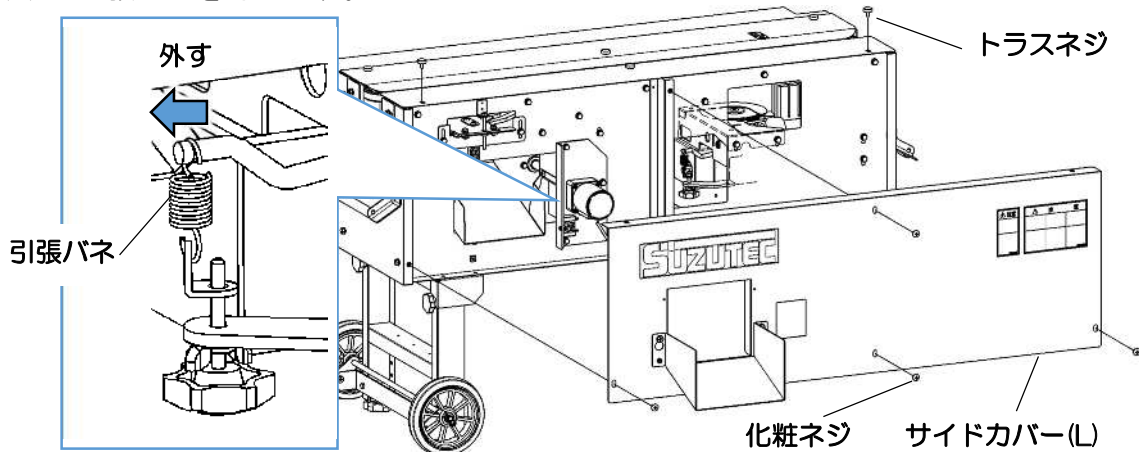
交換時は手袋を使用してください。

取外したカバーは必ず取付けてください。衣服が巻き込まれ傷害事故を引き起こすおそれがあります。

16.1 板刃の交換

板刃は両面使用できます。片面が摩耗しましたら、裏返してご使用ください。

- (1) 化粧ネジ(4ヶ所)とトラスネジ(2ヶ所)を外し、サイドカバー(L)を取外します。
- (2) 引張バネを外します。

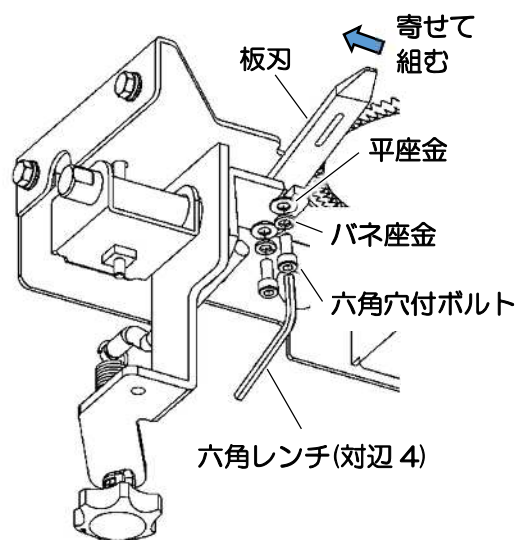


- (3) 六角穴付ボルト(2ヶ所)を外し、板刃を裏返すか新しい板刃へ交換します。

ポイント!

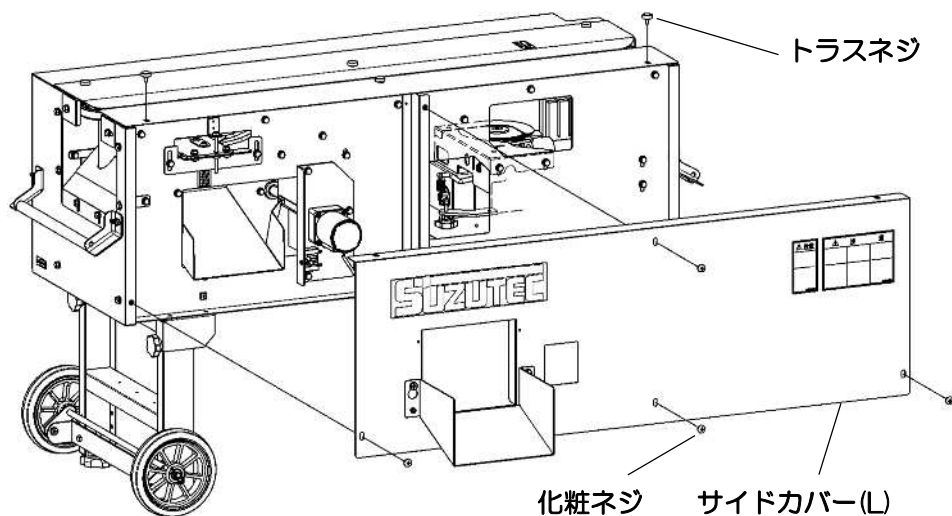
板刃はガタ分外側へ寄せて組付けると丸刃との噛み合わせが合いやすくなります。

- (4) 板刃を六角穴付ボルトで固定します。
- (5) 引張バネを元の位置にかけます。
(注意) 引張バネの調節は「12.1 根の切れ具合の調節」を参照してください。
- (6) サイドカバー(L)を元の位置に戻し、化粧ネジで固定します。
(注意) 板刃の交換後、根が切れないまたは根切り部から異音が生ずるといった症状がある場合は「12.4 根切り丸刃と板刃の噛み合わせ調節」を行ってください。

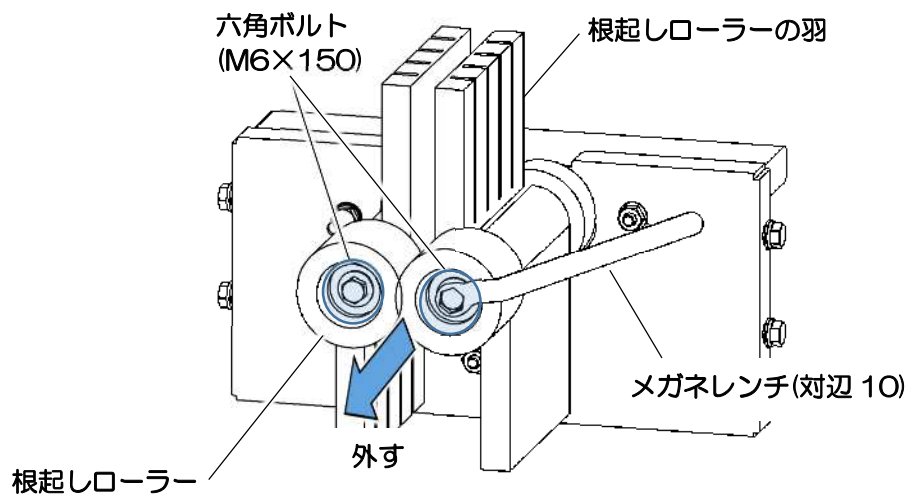


16.2 根起しローラーの交換

- (1) 化粧ネジ(4ヶ所)とトラスネジ(2ヶ所)を外し、サイドカバー(L)を取外します。



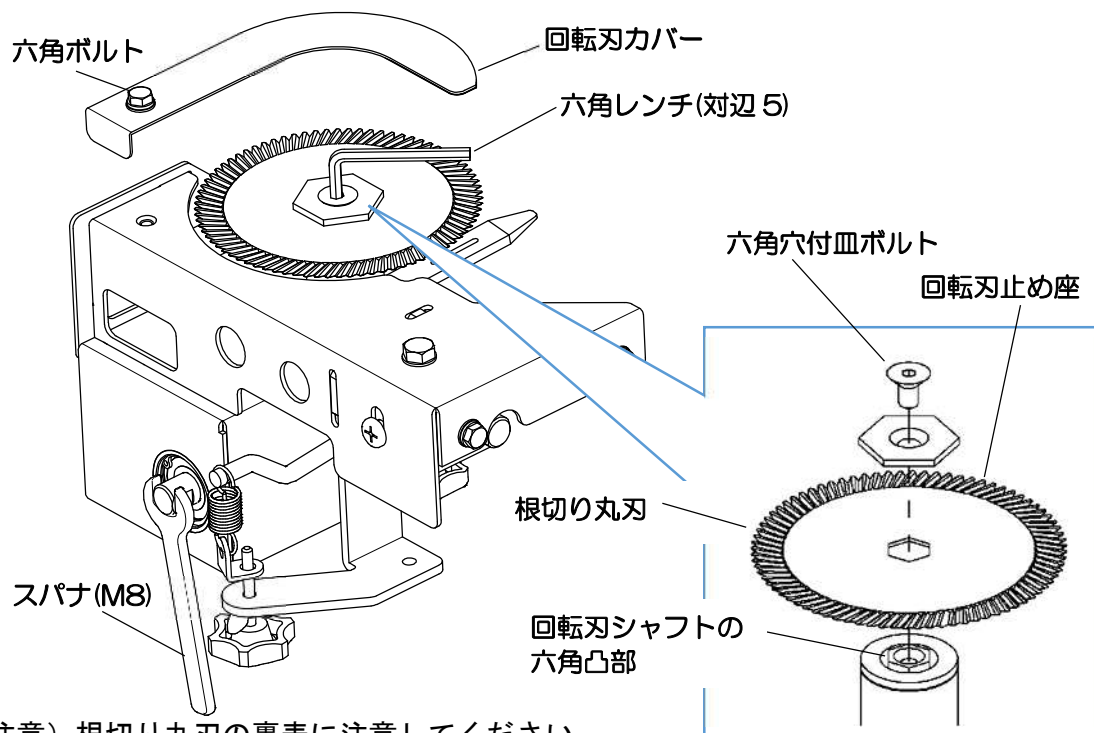
- (2) 根起しローラーが回らないよう押えながら、六角ボルト(M6×150)を外し根起しローラーを交換します。
(注意) 2つの羽が揃うように組付けてください。



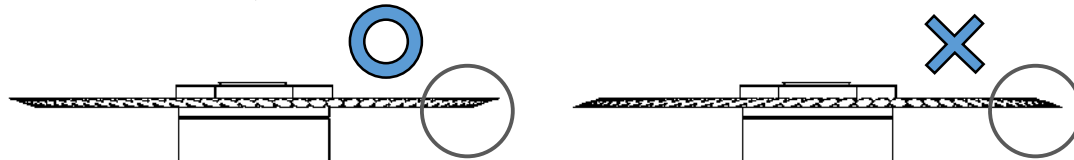
- (3) サイドカバー(L)を元の位置に戻し、化粧ネジとトラスネジで固定します。

1 6.3 根切り丸刃の交換

- (1) 化粧ネジ(4ヶ所)とトラスネジ(2ヶ所)を外し、サイドカバー(L)を取外します。
- (2) 六角ボルトを外して回転刃カバーを取外します。
- (3) スパナで軸の回転を押え、根切り丸刃を固定している六角穴付皿ボルトを外して、新しい根切り丸刃へ交換します。



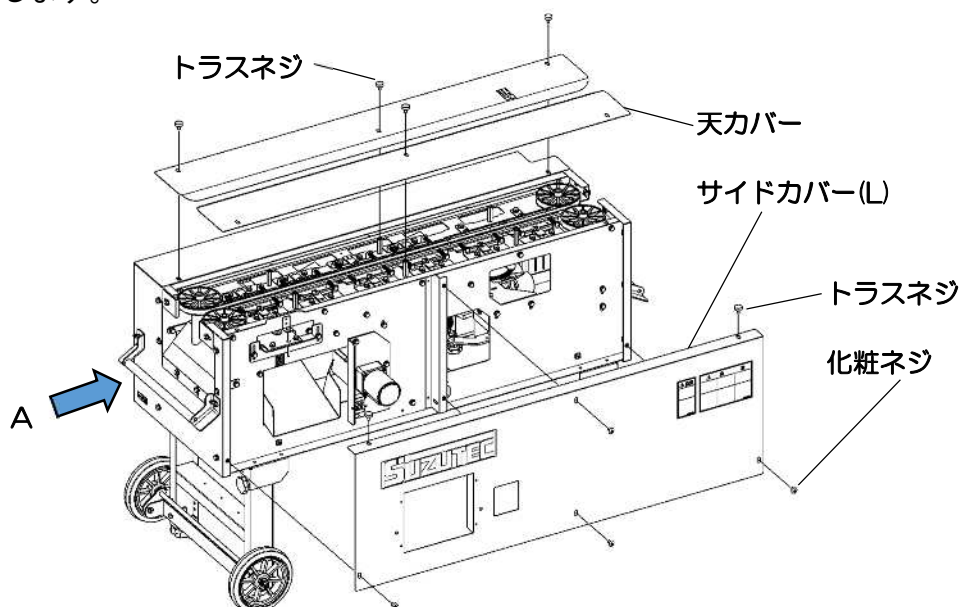
(注意) 根切り丸刃の裏表に注意してください。



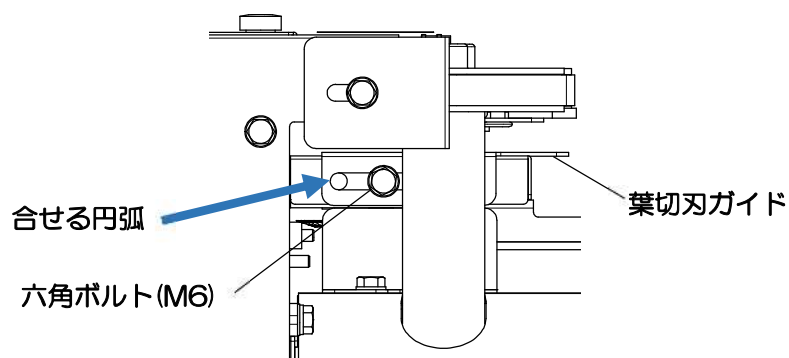
- (4) 六角穴付皿ボルトをしっかり締め付け、根切り丸刃を固定します。
 - (5) 根切り丸刃を手で軽く回して、根切り丸刃の取付六角穴が回転刃シャフトの六角凸部からずれていないことを確認します。
ずれている場合は、もう一度根切り丸刃を取付け直してください。
 - (6) サイドカバー(L)を元の位置に戻し、化粧ネジとトラスネジで固定します。
- (注意) 根切り丸刃の交換後、根が切れないまたは根切り部から異音が生ずるといった症状がある場合は「12.4 根切り丸刃と板刃の噛み合わせ調節」を行ってください。

16.4 葉切り丸刃の交換

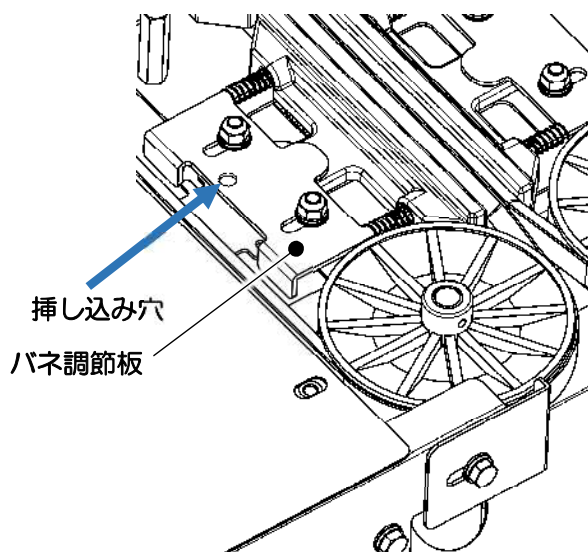
- (1) 化粧ネジ(4ヶ所)とトラスネジ(6ヶ所)を外し、サイドカバー(L)と天カバーを取外します。



- (2) Aの方からのぞき、六角ボルト(M6)をゆるめます。葉切り刃ガイドをスライドさせ、長穴の円弧と穴の円弧を合わせます。



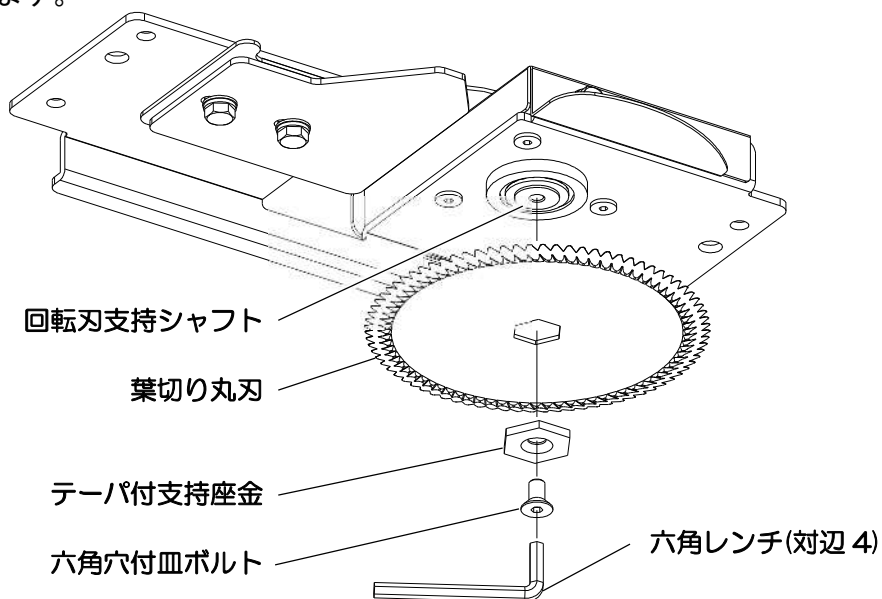
- (3) 進行方向右手最奥のバネ調節板(葉切り丸刃の真上)を外し、挿し込み穴が見えるようにします。



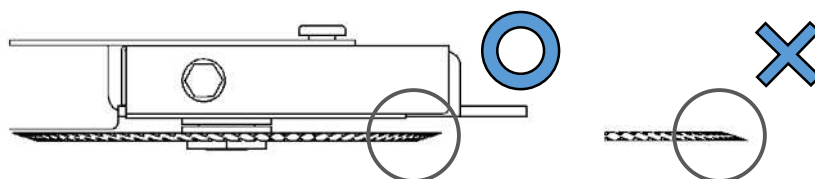
- (4) (2)(3)により貫通穴が開くので、長さ40mm以上のドライバー等を穴から挿し込んで、スプロケットが回転しないようストッパーにします。

16.4 葉切り丸刃の交換 (つづき)

- (5) 葉切り丸刃を固定している六角穴付皿ボルトを外して、新しい葉切り丸刃へ交換します。



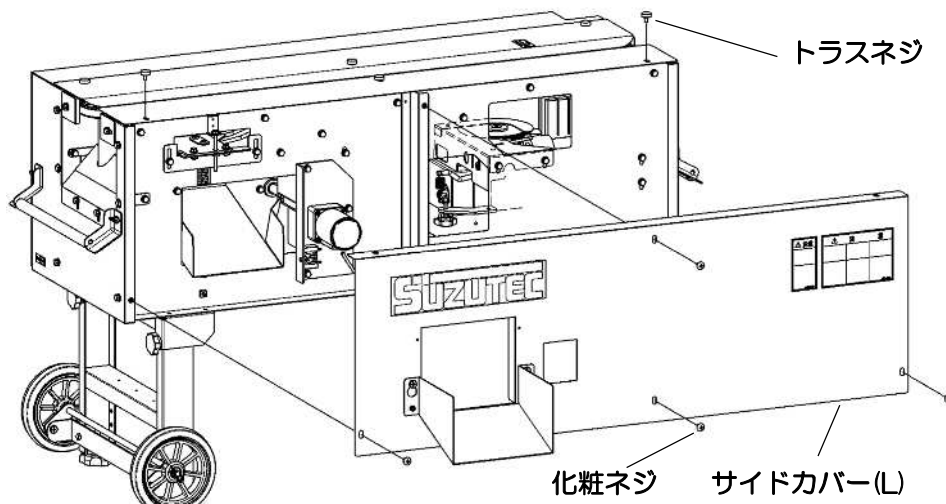
(注意) 葉切り丸刃の裏表に注意してください。



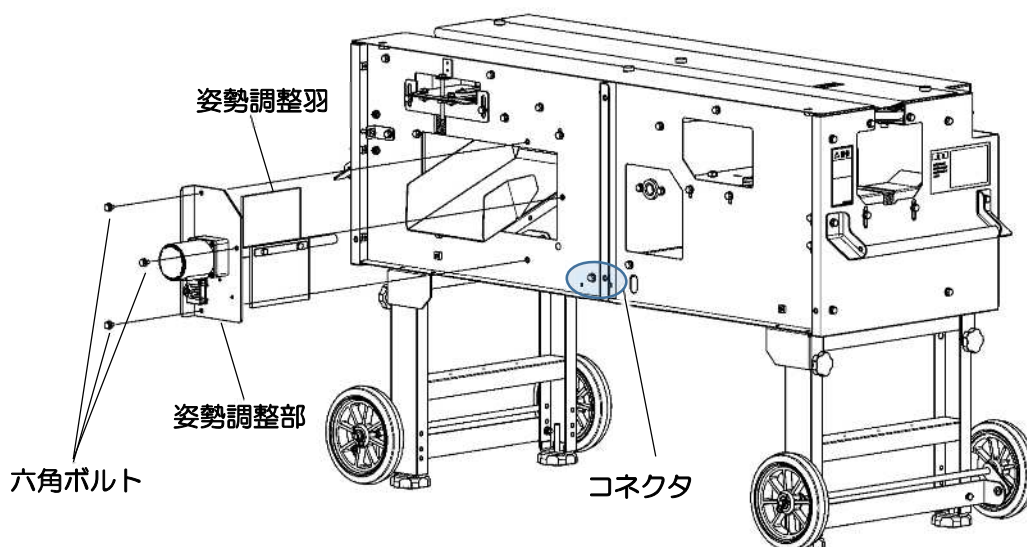
- (6) 六角穴付皿ボルトをしっかり締め付け、葉切り丸刃を固定します。
- (7) ストッパーを抜き、葉切り丸刃を手で軽く回して、葉切り丸刃の取付六角穴が回転刃支持シャフトの凸部からずれていないことを確認します。ずれている場合は、もう一度葉切り丸刃を取付け直してください。
- (8) バネ調節板、葉切刃ガイドを元の位置に戻してください。
- (9) サイドカバー(L)と天カバーを元の位置に戻し、化粧ネジとトラスネジで固定します。

16.5 姿勢調整羽の交換

- (1) 化粧ネジ(4ヶ所)とトラスネジ(2ヶ所)を外し、サイドカバー(L)を取外します。

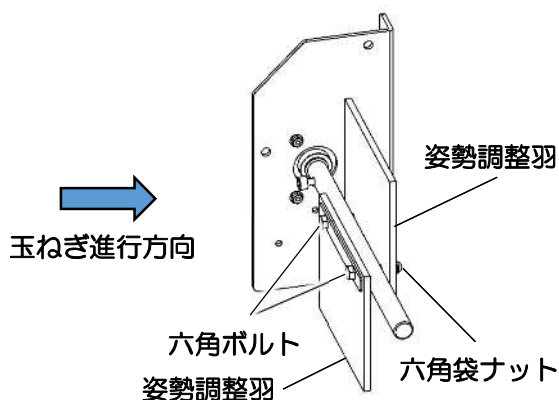


- (2) 姿勢調整部を、六角ボルト(3ヶ所)とコネクタを外して取外します。



- (3) 六角袋ナット(2ヶ所)と六角ボルト(2ヶ所)を外し、姿勢調整羽を交換します。

(注意) 姿勢調整羽の向きが右図と同じになるよう注意してください。



- (4) 姿勢調整部を元に戻し、六角ボルトで固定します。
(5) サイドカバー(L)を元の位置に戻し、化粧ネジとトラスネジで固定します。

17. 故障の診断と処置

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

症状	原因	対処
主駆動モーターが動かない	<p><青切り・乾燥玉ねぎ共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをコンセントに差込んでいない ● 電源スイッチがOFFになっている ● 電圧が低下している ● 配線が断線している ● 板刃が摩耗し、根切り丸刃にかみ込んでいる ● 葉切り丸刃の軸に切りカスがからみついている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをコンセントに差込む ● 電源スイッチをONにする ● 100V±5Vを確保する ● 断線部分を修理する 14. 回路図 ● 板刃を組替えるまたは交換する 16.1 板刃の交換 ● そうじをする
姿勢調整モーターが動かない	<p><青切り玉ねぎ調製時></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電圧が低下している ● コネクタが抜けている ● 配線が断線している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 100V±5Vを確保する ● コネクタを接続する 8.3 姿勢調整部の組付け ● 断線部分を修理する 14. 回路図
搬送Vベルトが動かない	<p><青切り・乾燥玉ねぎ共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 搬送Vベルトが伸び、プーリーがスリップしている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 12.2 搬送Vベルトの張り調節

症状	原因	対処
玉ねぎが途中でひっかかる	<p><青切り・乾燥玉ねぎ共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 葉の直径が 10 mm以下に潰れない玉ねぎを投入している <p><青切り玉ねぎ調製時></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 乾燥玉ねぎ調製時の調節になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 葉の直径 10 mm以下に潰れる玉ねぎを投入する ● 青切り玉ねぎ調製時の調節にする 9. 乾燥玉ねぎを調製する時の調節
根が長めに切れる	<p><青切り・乾燥玉ねぎ共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 根の長さの調節を行っていない ● 玉ねぎ投入時、玉ねぎのせ台から浮いている ● 葉の長さが 100 mm未満の玉ねぎを投入している ● 根起しローラー完結表面の布が摩耗しているまたははがれている ● 玉ねぎのせ台が斜めに組付いている ● 根切り丸刃と板刃の噛み合わせが合っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 11.1 根の長さの調節 ● 玉ねぎ投入時、玉ねぎのせ台に載せる ● 葉の長さ 100 mm以上の玉ねぎを投入する ● 根起しローラー完結を交換する ● 玉ねぎのせ台を水平に組付ける ● 12.4 根切り丸刃と板刃の噛み合わせ調節
長い根が4本以上切れずに残る	<p><青切り・乾燥玉ねぎ共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 板刃が摩耗して引張バネの張りが弱くなっている ● 板刃の動きが渋い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 12.1 根の切れ具合の調節 ● 食品機械用油を注油する

症状	原因	対処
葉の切断面が汚い または鋭角に切れる	<青切り玉ねぎ調製時> ● 姿勢調整部が駆動していない <乾燥玉ねぎ調製時> ● 葉を挟むVベルトの強さが強く、搬送途中で葉がちぎれる ● 葉が細くて玉ねぎ重量が重いので葉がちぎれる	● 姿勢調整部を駆動させる ● 11.3 葉を挟む強さを調節 (症状㉞) ● 調製できません
葉が切れないまたは長めに切れる	<青切り・乾燥玉ねぎ共通> ● 葉の長さの調節を行っていない ● 葉の長さが100 mm未満の玉ねぎを投入している <青切り玉ねぎ調製時> ● 玉ねぎの投入間隔が短く、矢印の位置に来る前に投入している ● 乾燥玉ねぎ調製時の調節になっている。 <乾燥玉ねぎ調製時> ● 葉を挟むVベルトの強さが弱く、搬送途中で葉がすり抜けて落下する	● 11.2 葉の長さの調節 ● 葉の長さ100 mm以上の玉ねぎを投入する ● 矢印の位置に葉が来てから次の玉ねぎを投入する 10. 使い方 ● 青切り玉ねぎ調製時の調節にする 9. 乾燥玉ねぎを調製する時の調節 ● 11.3 葉を挟む強さを調節 (症状㉞)

実り豊かな明日をひらく

株式会社 スズテック

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地 44-3
代表／TEL. 028(664)1111 FAX. 028(662)5592
URL. <http://www.suzutec.co.jp>